



ネットワークCDプレーヤー

CD-NT670

取扱説明書

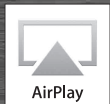


ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」(55～59ページ)を必ずお読みください。

- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

保証書別添付



Bluetooth®

musicCast

目次

本機でできること3

はじめに4

付属品4

本書について4

各部の名称5

フロントパネル5

リアパネル6

ディスプレイ7

ディスプレイの明るさを調整する7

リモコン8

準備する9

アンプを接続する9

FM アンテナを接続する10

電源を入れる11

ネットワーク接続の設定をする

.....12

接続方法を選ぶ12

ネットワーク接続の準備をする13

有線でネットワークに接続する15

無線でネットワークに接続する17

無線でモバイル端末と直接接続する（ワイヤレスダイレクト）20

CD の音楽を再生する22

USB 機器の音楽を再生する23

パソコンの曲を再生する24

音楽ファイルの共有設定をする24

パソコンの曲を再生する25

Bluetooth 接続で音楽を再生する

.....26

本機と Bluetooth 機器のペアリング26

ペアリングして音楽を再生する27

ペアリング済みの機器を Bluetooth 接続して

音楽を再生する28

Bluetooth 接続を切断する28

外部機器の音楽を再生する29

FM ラジオを再生する30

放送局を選ぶ30

放送局を登録する30

登録した放送局を選ぶ

（プリセット選局）31

登録した放送局を削除する31

インターネットラジオを再生する

.....32

radiko.jp を再生する33

AirPlay で音楽を再生する34

iPod で曲を再生する34

iTunes で曲を再生する34

音楽をもっと楽しむ35

シャッフル（ランダム）再生する35

リピート再生する35

曲情報を見る36

ネットワークコンテンツを登録する37

登録したネットワークコンテンツを選ぶ37

FAVORITES にコンテンツを登録する38

FAVORITES に登録したコンテンツを選ぶ38

FAVORITES に登録できる内容一覧39

スリープタイマーを使う40

オプション設定41

オプションメニュー一覧42

ファームウェアを更新する43

故障かな？と思ったら44

全般44

ネットワーク45

Bluetooth47

ディスク48

USB 機器48

ラジオ49

ディスプレイの表示メッセージ50

対応機器 / メディアとファイル形式51

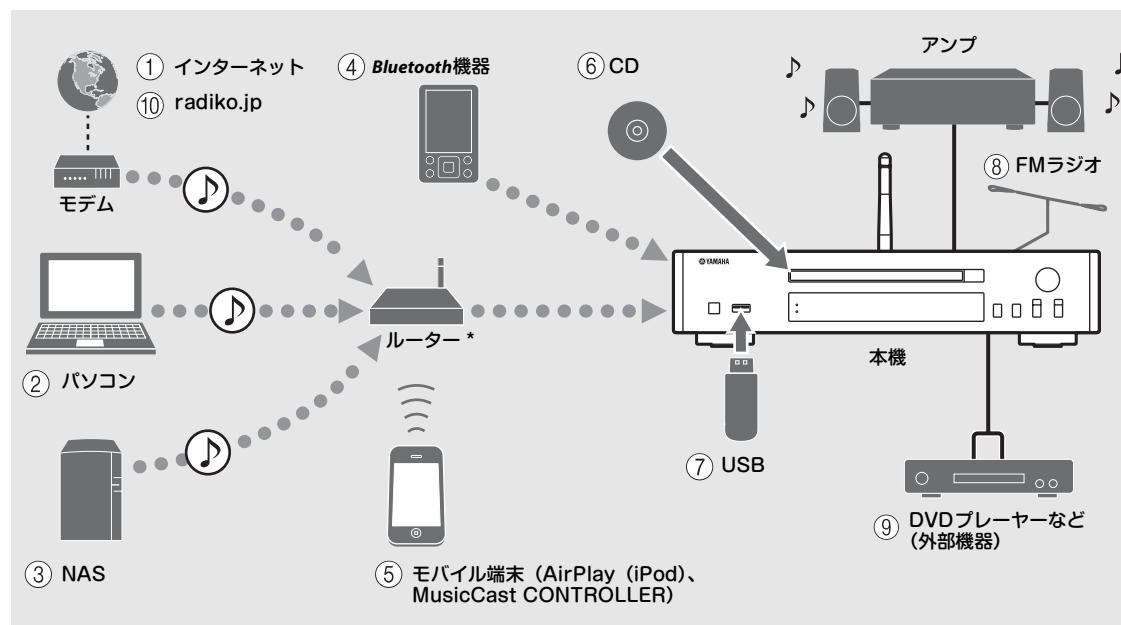
主な仕様53

商標54

安全上のご注意55

本機でできること

- 本機は、ホームネットワークおよびオーディオシステムと組み合わせて、同一ネットワーク内のメディアサーバー（パソコン、NAS）に保存した曲や、インターネットラジオ、FMラジオ、CD、AirPlay対応機器（iPod/iTunes）、USB機器に保存した曲、DVDプレーヤーなどの外部機器を再生するネットワークCDプレーヤーです。
- iOS/Androidに対応した専用の無料アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使用して、曲の選択や本体操作を快適に行うことができます。詳しくは、付属の「MusicCastセットアップガイド」をご覧ください。



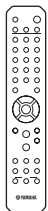
* モバイル端末を使う場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）が必要です。

- ① インターネットラジオの再生 (☞ P.32)
- ② パソコン内の音楽ファイルの再生 (☞ P.24)
- ③ NAS 内の音楽ファイルの再生 (☞ P.24)
- ④ Bluetooth 機器の音楽の再生 (☞ P.26)
- ⑤ AirPlay の再生 (☞ P.34)
MusicCast CONTROLLER の使用
(☞ P.12)
- ⑥ CD の再生 (☞ P.22)
- ⑦ USB 機器の音楽の再生 (☞ P.23)
- ⑧ FM ラジオの再生 (☞ P.30)
- ⑨ 外部機器の音楽の再生 (☞ P.29)
- ⑩ radiko.jp の再生 (☞ P.33)

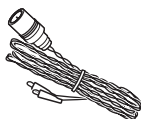
はじめに

付属品と、本書の見方について確認しておきましょう。

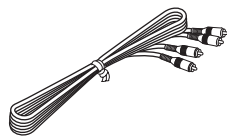
▶ 付属品



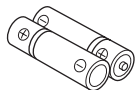
リモコン



FMアンテナ



ステレオピンケーブル



単3乾電池（2本）



MusicCastセットアップガイド

▶ 本書について

- リモコンでの操作をメインに記載しています。
- iOSおよびAndroid携帯端末を総称して「モバイル端末」と表記しています。必要な場合は、説明文中で携帯端末の種類を特定しています。
- 本文中のiPodという表記はiPhone/iPadも含みます。
- 本文中のイラストは実物と異なる場合があります。
- マークについて



使用時の注意点や機能の制約が記載されています。



知っておくと便利な補足情報が記載されています。

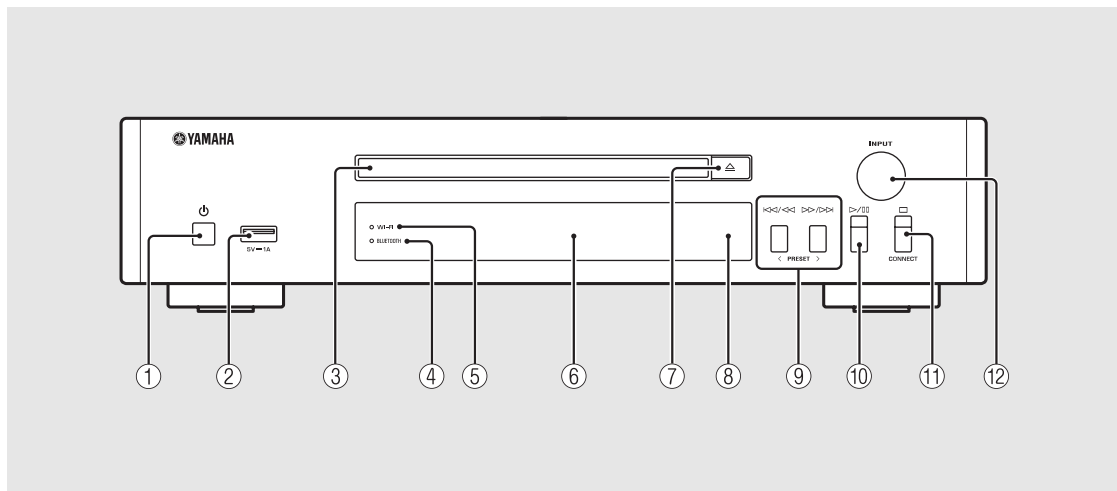


関連情報が記載されているページです。

各部の名称

本機の各部分の名前と機能をご確認ください。

■ フロントパネル



① ㊤ (電源) (㊤ P.11)

② USB 端子 (㊤ P.23)

③ ディスクトレイ (㊤ P.22)

④ **Bluetooth** インジケーター (㊤ P.27)

⑤ Wi-Fi インジケーター (㊤ P.17)

⑥ ディスプレイ (㊤ P.7)

⑦ ㊤ (ディスクトレイ開閉) (㊤ P.22)

⑧ リモコン信号受光部

⑨ ◀◀/▶▶ ▶▶/▶▶ (㊤ P.22、23、25)

プリセット
PRESET</> (㊤ P.31)

⑩ ▶/⏸ (曲の再生 / 一時停止)
(㊤ P.22、23、25)

⑪ □ (停止) (㊤ P.22、23、25、32)

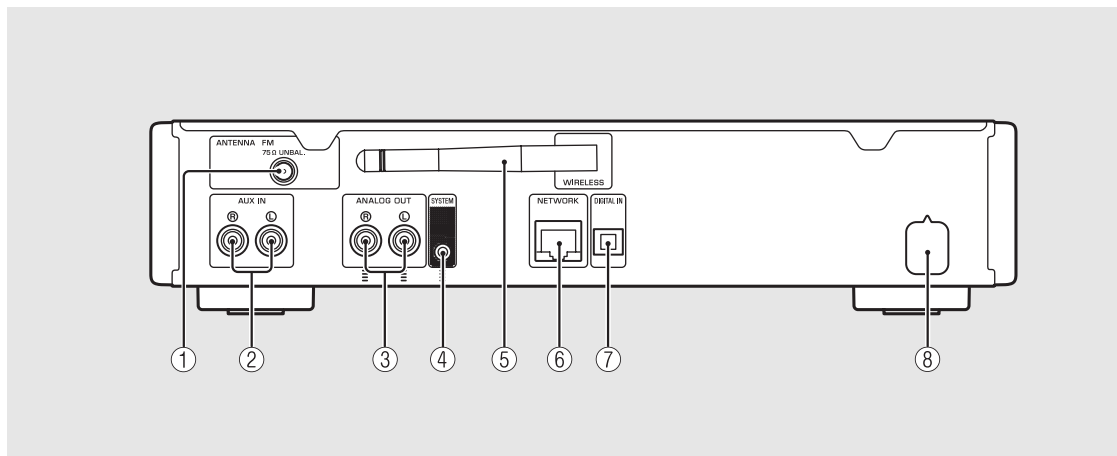
コネクト
CONNECT

モバイル端末専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使って本機を操作するときに使用します。詳しくは、付属の「MusicCastセットアップガイド」をご覧ください。

⑫ ^{インプット} INPUT (㊤ P.22、23)

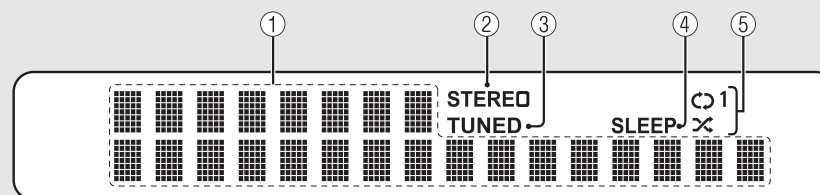
左右に回して音楽ソースを切り替えます (ソースはディスプレイに表示されます)。

リアパネル



- ① ANTENNA 端子 (☞ P.10)
- ② AUX IN 端子 (RCA 入力) (☞ P.29)
- ③ ^{アナログ} ANALOG OUT 端子 (☞ P.29) ^{アウト}
- ④ ^{システム} SYSTEM 端子 (ミニジャック入力)
使用しません。
- ⑤ 無線アンテナ (☞ P.17)
- ⑥ ^{ネットワーク} NETWORK 端子 (☞ P.13)
市販の LAN ケーブルを使ってネットワークへ接続
します。
- ⑦ ^{デジタル} DIGITAL IN 端子 (光入力) (☞ P.29) ^{イン}
- ⑧ 電源コード (☞ P.11)

ディスプレイ



① 多機能インジケータ

再生中の曲の情報やラジオの周波数など、さまざまな情報を表示します。
ディスプレイに表示される文字は英数字のみです。

② ステレオ STEREO インジケータ

FMステレオ放送を良好に受信しているときに点灯します。

③ チューンド TUNED インジケータ

放送局を正しく受信しているときに点灯します。

④ SLEEP インジケータ

スリープタイマーを設定すると点灯します
(☞ P.40)。

⑤ シャッフル、リピートインジケータ

CD、USB、パソコンの曲をシャッフル再生、またはリピート再生しているときに点灯します
(☞ P.35)。

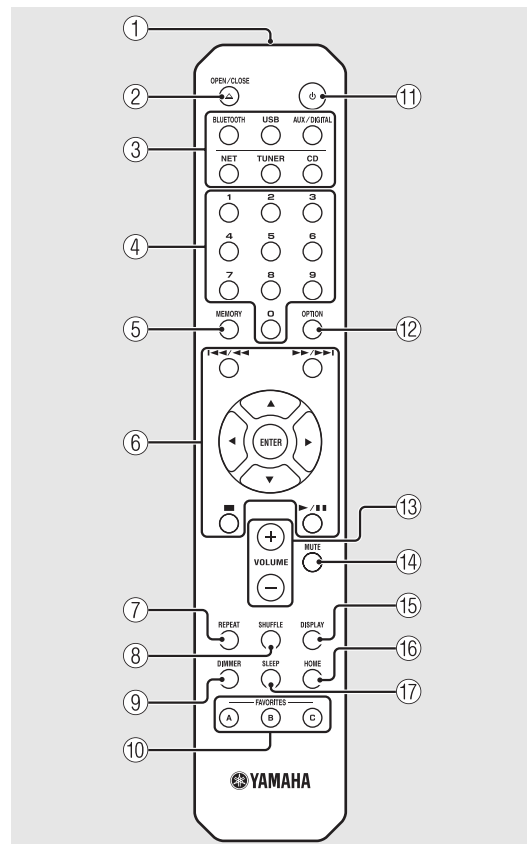


ディスプレイの明るさを調整する

リモコンの **DIMMER** ボタン (☞ P.8) を押すと、ディスプレイの明るさを調整できます。

- 押すたびに、明るい(初期設定)、やや明るい、暗い、の3段階に切り替わります。

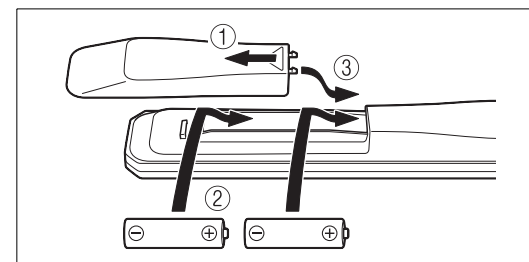
リモコン



- ① 赤外線信号送信部
- ② △ (ディスプレイ開閉) (☞ P.22)
- ③ ソースボタン
音楽ソースを切り替えます。
- ④ 数字ボタン (☞ P.22、37)
- ⑤ ^{メモリー} MEMORY (☞ P.30、37)
- ⑥ オーディオ操作、カーソル操作ボタン
(☞ P.22、23、25、32)
- ⑦ ^{リピート} REPEAT (☞ P.35)
- ⑧ ^{シャッフル} SHUFFLE (☞ P.35)
- ⑨ ^{ディマー} DIMMER (☞ P.7)
- ⑩ ^{フェイバリット} FAVORITES (☞ P.38)
- ⑪ 〇 (電源) (☞ P.11)
- ⑫ ^{オプション} OPTION (☞ P.41)
- ⑬ ^{ボリューム} VOLUME + / -
使用しません。
- ⑭ ^{ミュート} MUTE
使用しません。

- ⑮ ^{ディスプレイ} DISPLAY (☞ P.36)
- ⑯ ^{ホーム} HOME (☞ P.25、32)
- ⑰ ^{スリープ} SLEEP (☞ P.40)

リモコンに電池を入れる



電池の+と-を確認し、正しい向きで電池をリモコンに入れてください。

- ❗ リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、すべての乾電池を新しいものに交換してください。

準備する

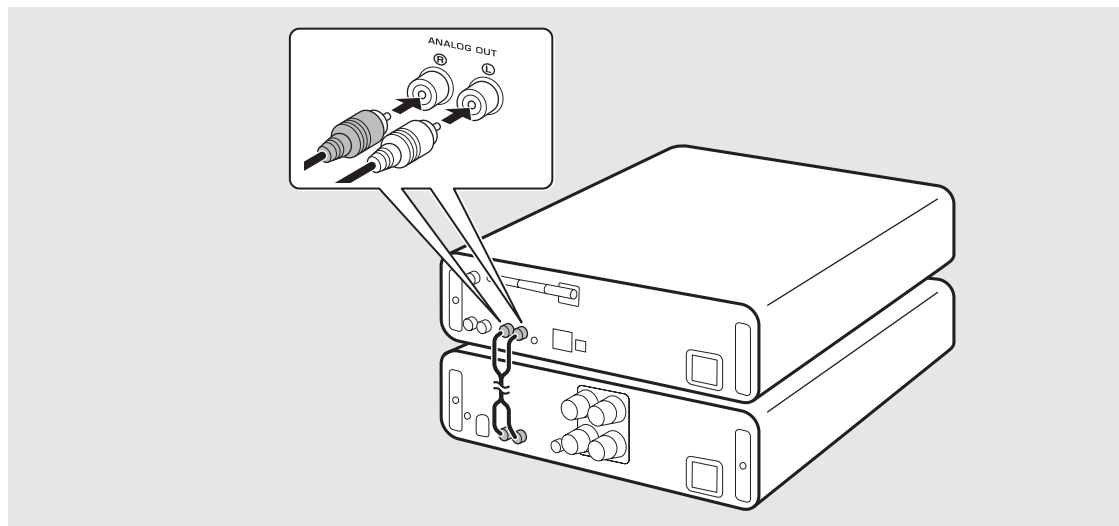
アンプやアンテナなどを接続して、本機の電源を入れます。

電源コードは、すべてのケーブルを接続し終わってからコンセントに差し込んでください。

■ アンプを接続する

右図のようにアンプを接続する。

- 付属のステレオピンケーブルを使用して、アンプの音声入力端子と接続してください。



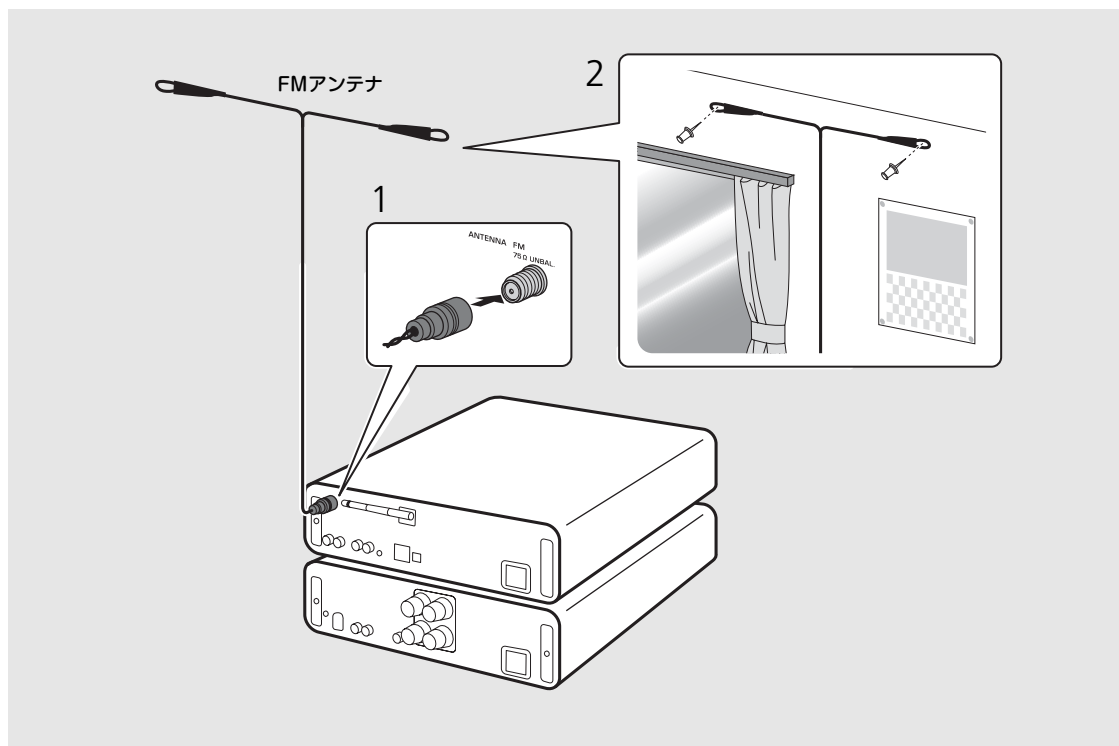
- 本機で再生するためには、必ずアンプとスピーカーに接続してください。
- 接続される機器や接続環境によって、正常に再生できないことがあります。再生機器側の仕様や設定もご確認ください。



- アンプ内蔵スピーカーを接続することもできます。

FMアンテナを接続する

- 1 付属のFMアンテナを接続する。
- 2 最もよく受信する位置にピン等で固定する。



- FMアンテナはイラストのように広げて張ってください。
- 受信状態が悪い場合は、付属のFMアンテナの代わりに市販の屋外アンテナを使用すると改善される場合があります。

電源を入れる

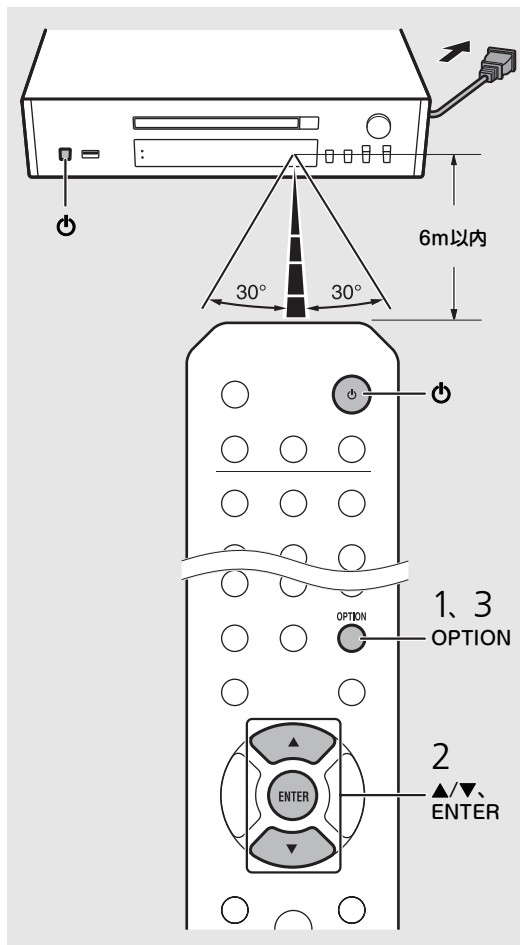
電源コードをコンセントに差して、**⏻**を押す。

- 「電源オン」になります。
- もう一度**⏻**を押すと電源が切れます(スタンバイ)。
- 消費電力をおさえる「エコスタンバイ」に設定できます。「エコスタンバイ」に設定した場合は、制限される動作があります(右表参照)。

エコスタンバイに設定する

ネットワークスタンバイ設定をオフにすることで、エコスタンバイに設定できます。

- OPTION** **⏻**を押す。
 - オプションメニューが表示されます。
- エコスタンバイに設定する。**
 - [System Config] → [Net Standby] の順で設定します。
 - **▲/▼**で [Off] を選択し、**ENTER**を押して確定します。
- OPTION** **⏻**を押してオプション設定を終了する。



スタンバイ/エコスタンバイ時の本機の動作

	スタンバイ	エコスタンバイ
USB機器の充電	○	×
ソースボタン操作*	○	○
CDの挿入/排出	○	○
AirPlay	○	×
アプリからの操作	○	×
Bluetooth	○	×

* リモコン操作のみ

電源に関するオプションメニュー (System Config)

(太字：初期値)

AutoPowerStdbby

自動的にスタンバイ状態にする設定をします。
(On, Off)

Onにすると、ご使用の音楽ソースに応じて、次の条件で自動的にスタンバイ状態になります。

- Network/Bluetooth/CD/USB：何も操作・再生しない状態が20分間続いた場合。
- それ以外のソース：何も操作しない状態が8時間続いた場合。



- ネットワーク接続が未設定の場合、電源をオンにするとディスプレイに [Share WiFi Set] と表示され、iOSデバイスを自動で検索します。iOSデバイスとのネットワーク接続については「iOSデバイスの設定を共有する」(P.19)をご覧ください。

ネットワーク接続の設定をする

ネットワークへ接続する方法を選択します。本機をネットワークに接続することで、パソコンやモバイル端末、ネットワーク接続ストレージ (NAS) などのDLNA*サーバーに保存されている音楽ファイル、またはインターネットの音声コンテンツを再生できます。モバイル端末で本機を操作することもできます。

* Digital Living Network Alliance (デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス)

接続方法を選ぶ

「MusicCast CONTROLLER」を使用して接続する

専用の無料アプリ「MusicCast CONTROLLER」をお使いのモバイル端末にインストールして、ネットワーク接続を設定することができます。詳しくは、付属の「MusicCast セットアップガイド」をご覧ください。

MusicCast CONTROLLERでは、ネットワーク設定以外に次のような機能を利用できます。

- パソコン（サーバー）の曲を再生する
- インターネットラジオ局を選ぶ
- radiko.jp の放送局を選ぶ
- 本機とヤマハ製ネットワーク対応 AV 機器のあいだで音声を配信/受信

本体の操作で接続する

「MusicCast CONTROLLER」を使用して接続する以外に、次のような方法でネットワーク接続ができます。

有線で接続する：

有線でのネットワーク接続の設定をする (☞ P.15)。

無線で接続する：

無線でのネットワーク接続の設定をする (☞ P.17)。

ワイヤレスダイレクトで接続する：

無線でモバイル端末と直接接続（ワイヤレスダイレクト）するための設定をする (☞ P.20)。



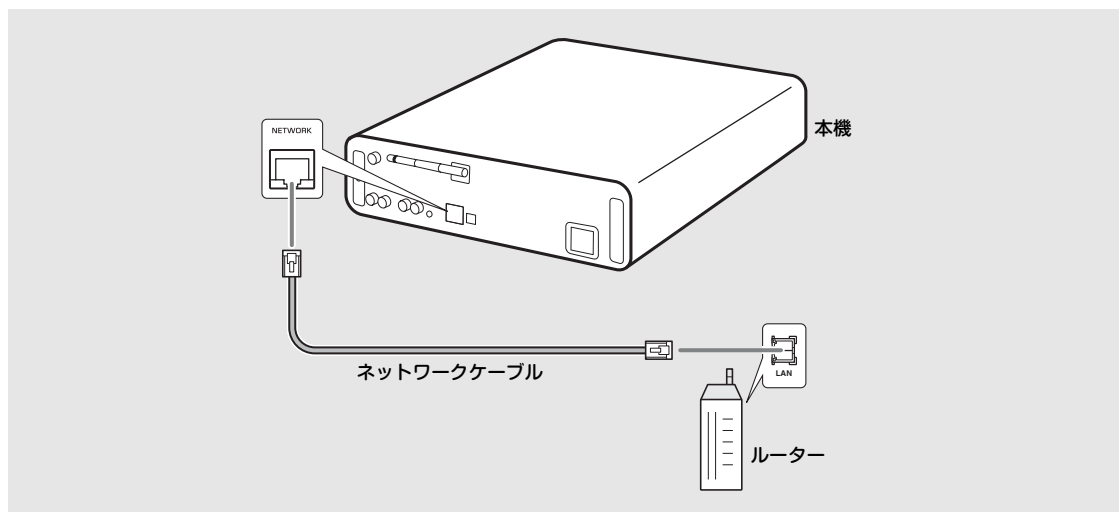
- 接続の安定性を保つため、有線接続を推奨します。
- インターネットの接続については、お使いのネットワーク機器に付属している取扱説明書をご覧ください。
- DHCP サーバー対応のルーターをお使いの場合は、本機でネットワーク設定を行う必要はありません。DHCP サーバー非対応のルーターをお使いの場合は、オプション設定の [Network Config] でネットワーク設定をしてください (☞ P.41)。
- セキュリティソフトや、ネットワーク機器の設定（ファイアウォールなど）により、本機がパソコンやインターネットラジオにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトやネットワーク機器の設定を変更してください。
- サブネットを手動で設定する場合は、すべて本機と同じサブネットに設定してください (☞ P.42)。

■ ネットワーク接続の準備をする

有線接続の準備をする

右図のように本機をルーターに接続する。

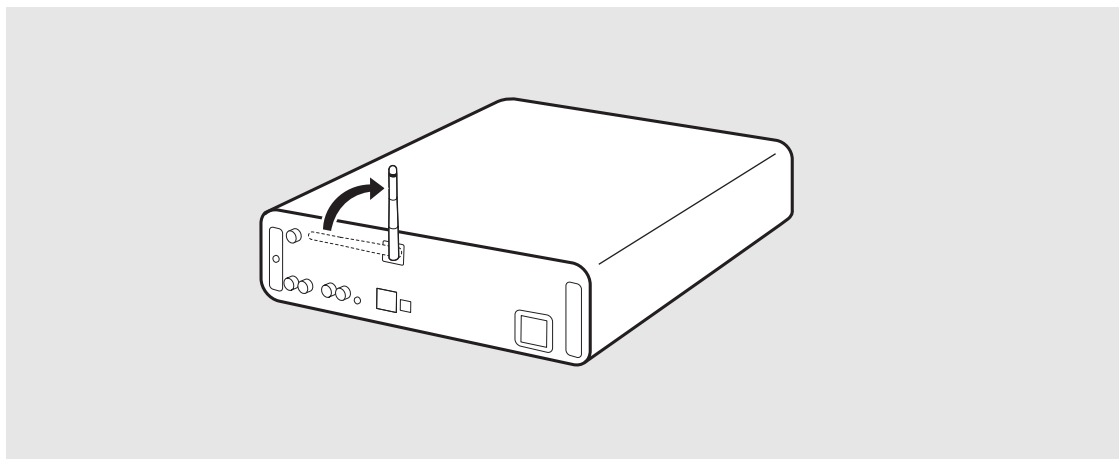
- 接続ケーブルは市販のSTPネットワークケーブル（CAT-5以上のストレートケーブル）を使用してください。



無線接続の準備をする

無線アンテナを立てる。

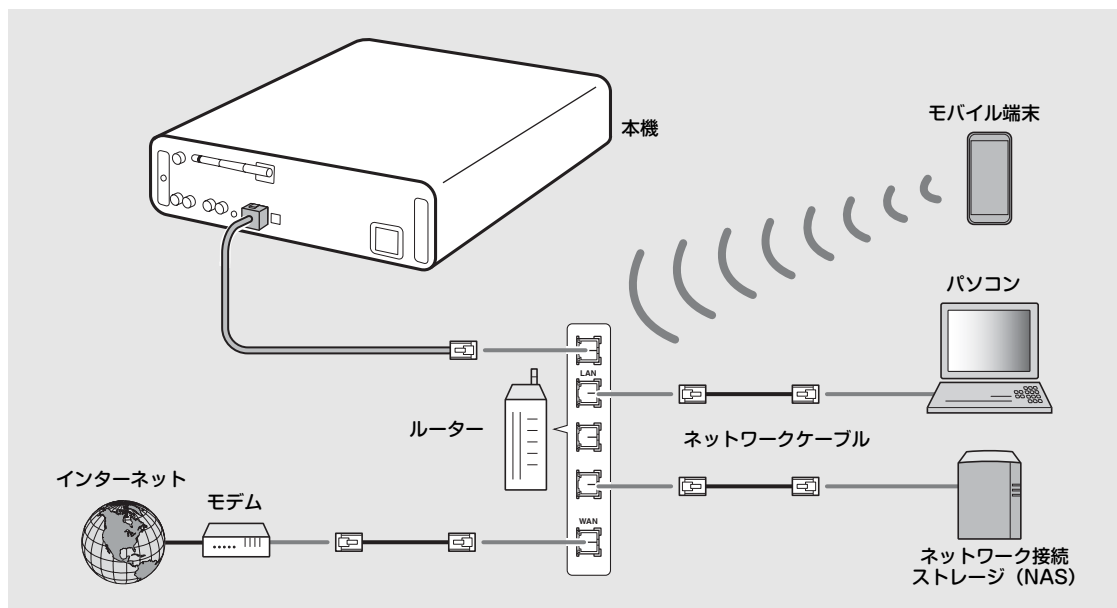
- 本機リアパネルにある無線アンテナを立ててください。



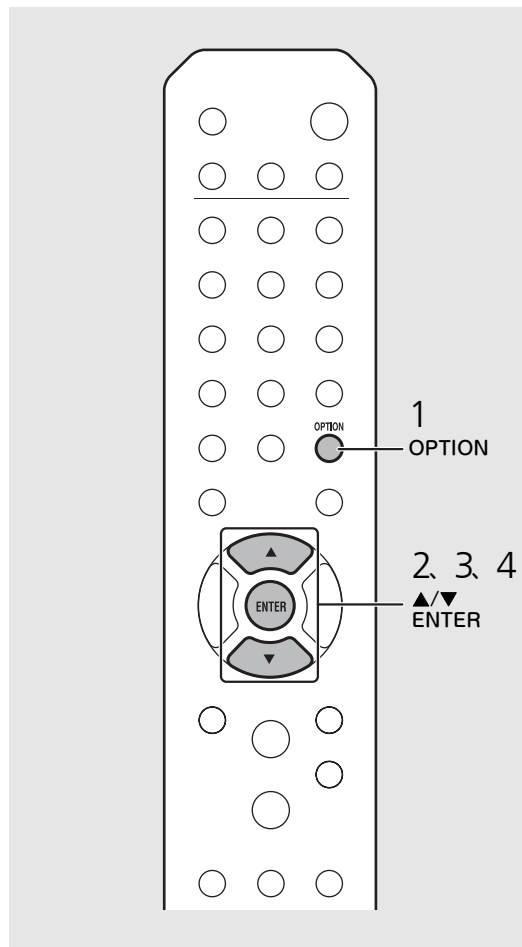
- アンテナに極端な力を加えたりしないでください。破損するおそれがあります。
- 可動部分の向きを確認して、正しい方向に曲げてください。
- アンテナを取りはずさないでください。

有線でネットワークに接続する

本機をケーブルでネットワークに接続します。
あらかじめ、本機のNETWORK端子をネットワークケーブルでルーターに接続しておく必要があります（☞ P.13）。

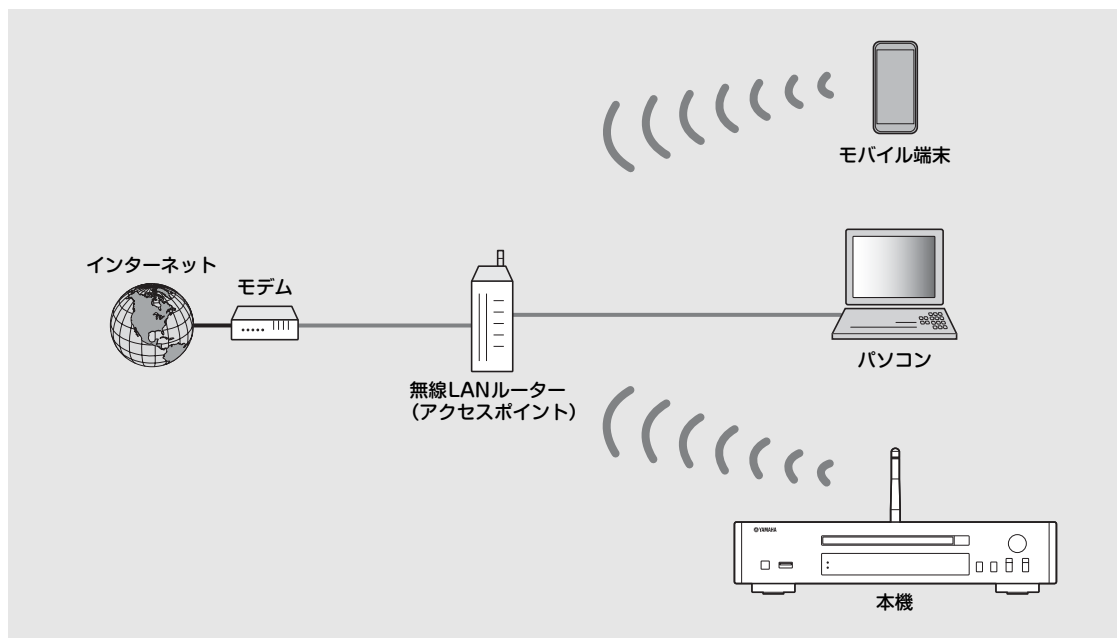


- 1 ^{OPTION}  を押す。
 - オプションメニューが表示されます。
- 2 ▲/▼で [Network Config] を選び、 を押す。
- 3 ▲/▼で [Select Network] を選び、 を押す。
- 4 ▲/▼で [Wired] を選び、 を押す。
 - 本機では、[Wired] が初期設定です。



無線でネットワークに接続する

本機を無線でネットワークに接続します。
あらかじめ、本機の無線アンテナを垂直に起こしておいてください（☞ P.14）。



- 有線ネットワーク接続やワイヤレスダイレクトと同時に使用することはできません。
- 本機と無線LANルーター（アクセスポイント）が離れていると接続できない場合があります。そのような場合は、本機と無線LANルーター（アクセスポイント）を近づけて設置してください。



- 無線LANルーター（アクセスポイント）に接続できない場合は、ワイヤレスダイレクトでモバイル端末の音楽ファイルの再生などができます（☞ P.20）。
- 接続完了後、Wi-Fiインジケーターが点灯します。

WPSボタンで設定する

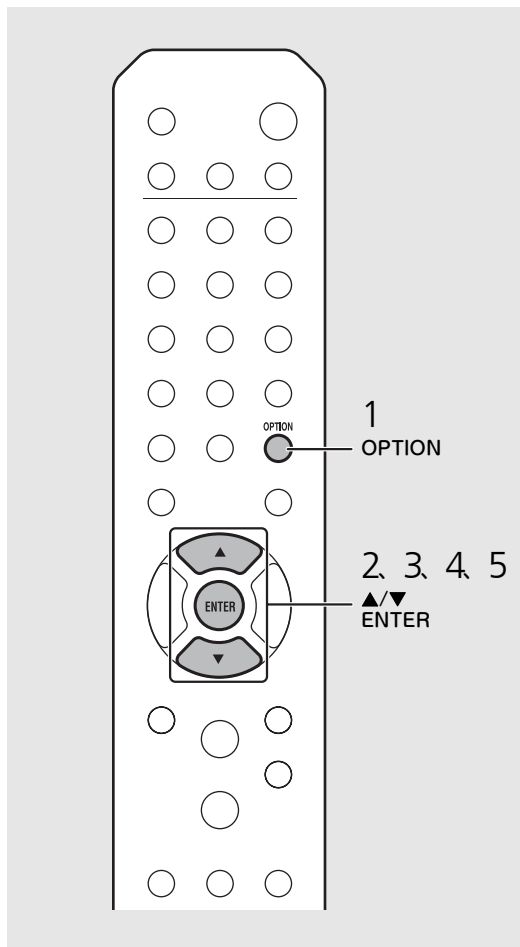
無線LANルーター（アクセスポイント）のWPSボタンを押すだけで、簡単に接続することができます。

- WPSボタン付きの無線LANルーター（アクセスポイント）が必要です。

- 1 **OPTION**を押す。
 - オプションメニューが表示されます。
- 2 **▲/▼**で **[Network Config]** を選び、**ENTER**を押す。
- 3 **▲/▼**で **[Select Network]** を選び、**ENTER**を押す。
- 4 **▲/▼**で **[Wireless]** を選び、**ENTER**を押す。
- 5 **▲/▼**で **[WPS]** を選び、**ENTER**を押す。
- 6 ブロードバンドルーターのWPS ボタンを押す。

WPSとは

WPS (Wi-Fi Protected Setup) とは、Wi-Fi Alliance によって策定された規格です。WPS により、無線ネットワークを簡単に設定できます。



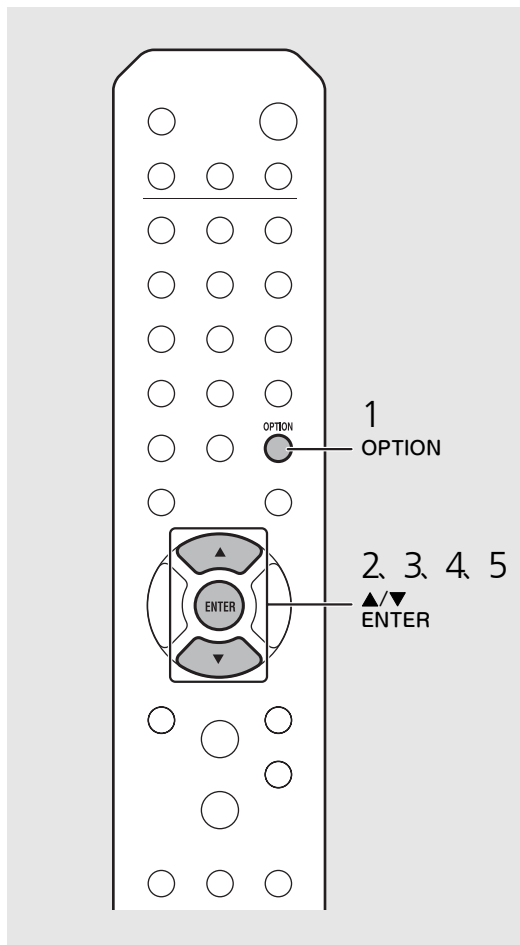
- 接続完了後、Wi-Fiインジケータが点灯します。

iOSデバイスの設定を共有する

お手持ちのiOSデバイス（iPhoneなど）のネットワーク設定を本機に適用して、簡単に接続することができます。

設定を始める前に、お使いのiOSデバイスが無線LANルーター（アクセスポイント）に接続されていることを確認してください。

- 1 **OPTION** を押す。
• オプションメニューが表示されます。
- 2 **▲/▼**で【Network Config】を選び、**ENTER**を押す。
- 3 **▲/▼**で【Select Network】を選び、**ENTER**を押す。
- 4 **▲/▼**で【Wireless】を選び、**ENTER**を押す。
- 5 **▲/▼**で【Share WiFi Set】を選び、**ENTER**を押す。
• ディスプレイにネットワーク初期化のメッセージが表示されますので、**ENTER**を押します。
- 6 iOSデバイスのWi-Fi設定画面を開き、「新しいAIRPLAYスピーカーを設定...」から本機を選ぶ。
• 以降は、iOSデバイスの画面の指示にしたがって操作します。



• iOS7.1 以降を搭載した iOS デバイスが必要です。

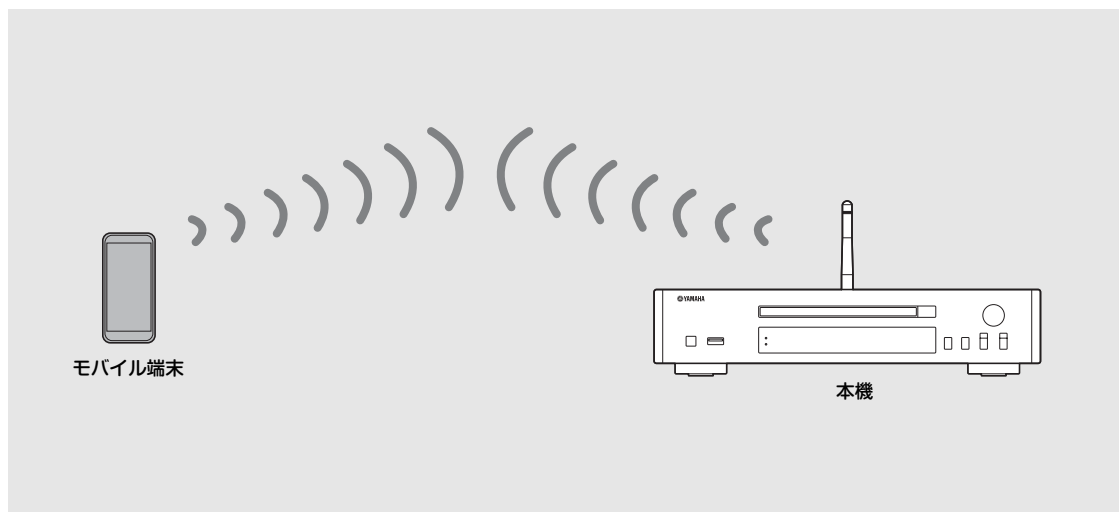
• iOS デバイスのネットワーク設定を共有すると、すべてのネットワーク情報と *Bluetooth* の接続情報が初期化されます。各種ストリーミングサービスのアカウント情報も初期化されます。



• 接続完了後、Wi-Fiインジケーターが点灯します。

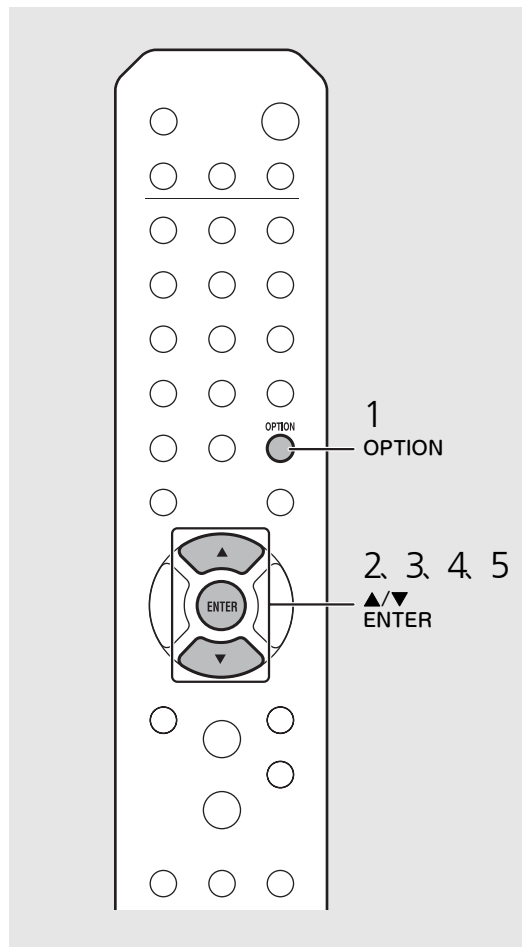
無線でモバイル端末と直接接続する（ワイヤレスダイレクト）

本機とモバイル端末を無線で直接接続します。
あらかじめ、本機の無線アンテナを垂直に起こしておいてください（☞ P.14）。



- 有線ネットワーク接続や無線ネットワーク接続と同時に使用することはできません。
- ワイヤレスダイレクト使用時は、インターネットに使用できません。したがって、インターネットラジオなどのインターネットサービスは使用できません。
- モバイル端末のWi-Fi設定方法については、ご使用のモバイル端末の取扱説明書をご覧ください。



- 1 **OPTION** を押す。
 • オプションメニューが表示されます。
- 2 **▲/▼**で [Network Config] を選び、**ENTER**を押す。
- 3 **▲/▼**で [Select Network] を選び、**ENTER**を押す。
- 4 **▲/▼**で [Direct] を選び、**ENTER**を押す。
- 5 **▲/▼**でセキュリティー方式を選び、**ENTER**を押す。
 • 選択できるセキュリティー方式：[OPEN]、[WPA2-PSK(AES)]
- 6 **SSID とセキュリティーキーを確認する。**
 • モバイル端末のWi-Fi設定を行うときに必要となります。
 • オプションメニュー→ [Network Info] → [Direct Info] で確認できます。
- 7 **モバイル端末のWi-Fi設定を行う。**
 • モバイル端末のWi-Fi機能を有効にしてください。
 • アクセスポイントの一覧が表示されたら、手順6で確認したSSIDを選びます。
 • パスワードの入力を求められたら、手順6で確認したセキュリティーキーを入力します。







- 手順5で [OPEN] を選択した場合は、通信が暗号化されないため、接続が安全ではない場合があります。

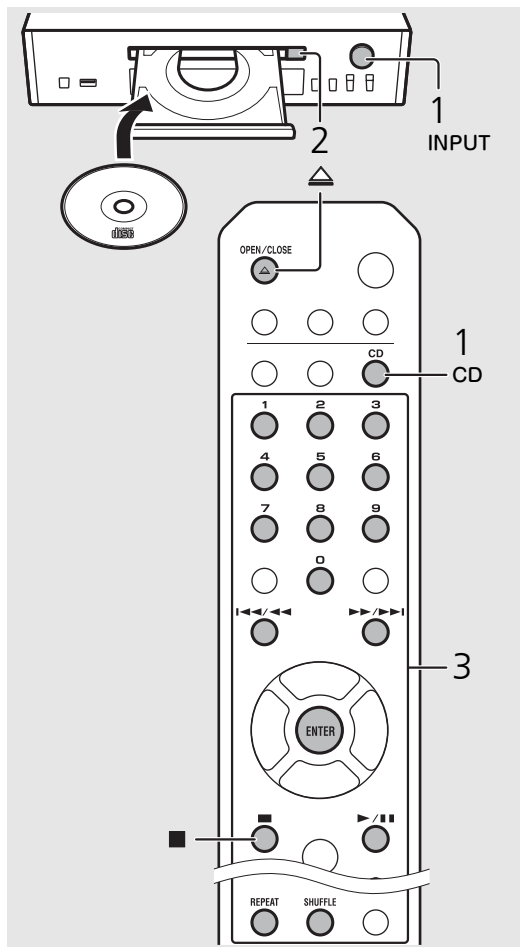
CDの音楽を再生する



本機ではオーディオCDのほかに、MP3/WMAファイルが記録されているデータCDも再生できます。
再生できるCDについては、「対応機器/メディア」(P.51)をご覧ください。

- 1 本体のINPUTを回して【CD】を選ぶ。または、リモコンのを押す。
- 2 CDをセットする。
 - ディスクトレイはを押して開閉します。
- 3 再生する。

リモコンは以下の通りに機能します。

	再生/一時停止
	停止
	再生中の曲の先頭または、前の曲の先頭へスキップ/長押しで早戻し
	次の曲にスキップ/長押しで早送り
SHUFFLE	シャッフル再生 (P.35)
REPEAT	リピート再生 (P.35)
1~9、0	曲番号の指定
<small>エンター</small> ENTER	数字ボタンで選んだ曲番号の確定



- 再生中のCDを停止した場合、次回は再生していた曲の始めから再生されます (レジューム再生)。再生停止した状態でを押すと、レジューム再生はクリアされます。
- 数字ボタンで選んだ曲番号は、を押すと、取り消しができます。
- CDを音楽ソースに選択して、本機にCDをセットした状態で電源を切り、再度オンにすると、セットされたCDが自動で再生されます。

USB機器の音楽を再生する

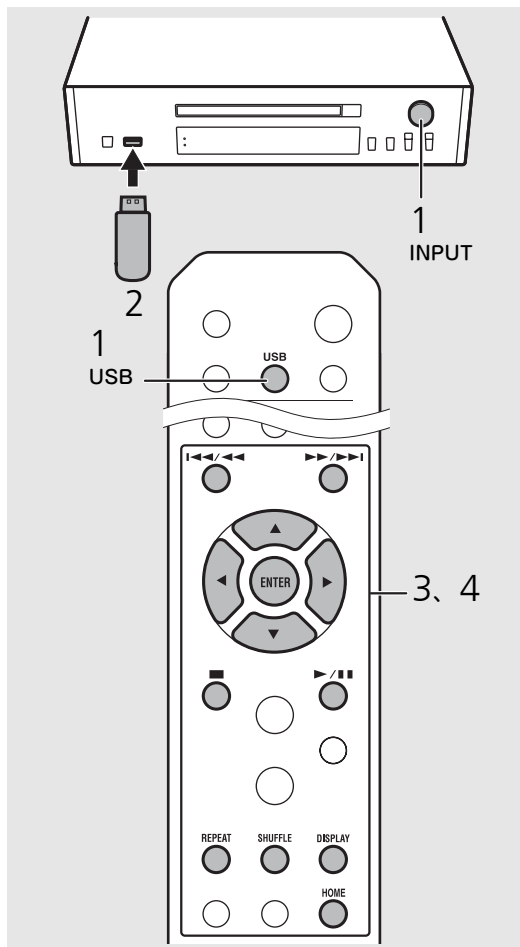
音楽ファイルが保存されたUSB機器を再生できます。
対応USB機器については「対応機器/メディア」(P.51)をご覧ください。

- 1 本体のINPUTを回して【USB】を選ぶ。または、リモコンの^{USB}を押す。
- 2 USB端子にUSB機器を接続する。
- 3 ブラウズ操作して曲を選ぶ。

▲▼	項目を移動
ENTER/▶	選択項目を決定し次の階層に進む、または再生開始
HOME	一番上の階層に移動
◀	ひとつ前の階層に戻る
DISPLAY	ブラウズを終了し、再生しているコンテンツの情報を表示

4 再生する。

▶/■	再生/一時停止
▶▶/▶▶/◀◀/◀◀	フォルダ内の前後の曲にスキップ
■	停止
SHUFFLE	シャッフル再生 (☞ P.35)
REPEAT	リピート再生 (☞ P.35)



- お使いのUSB機器によっては正常に動作しないことがあります。また、すべてのUSB機器に対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。
- USB機器を本機と接続して使用しているときに、USB機器のデータを消失あるいは損傷した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。データの不具合に備え、データのバックアップをとっておくことをおすすめします。



- USB機器を取り外すときは再生を停止してください。
- USB機器を本機に接続すると充電されます(エコスタンバイ時を除く)。ただし、接続する機器によっては供給電流が500mAに制限されたり、充電されない場合があります。

パソコンの曲を再生する

ネットワークにつないだパソコン（サーバー）やNAS内のMP3やWMA、FLAC（音質劣化のない可逆型音声圧縮方式）などの音楽ファイルを本機で再生できます。ディスプレイの表示を確認（ブラウズ）しながら、再生したい音楽ファイルを選んで再生します。

音楽ファイルの共有設定をする

パソコン内の音楽ファイルを再生するには、本機とパソコン（Windows Media Player 11以降）で音楽ファイルを共有する設定が必要です。ここでは、Windows Media Player 12（Windows 7）を例に説明します。

- 1 パソコンでWindows Media Player 12を起動する。
- 2 メニューバーの「ストリーム」から、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。
 - パソコンのコントロールパネル画面が表示されます。
- 3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする。
- 4 機器名の右側のドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。
- 5 「OK」をクリックして設定を終了する。

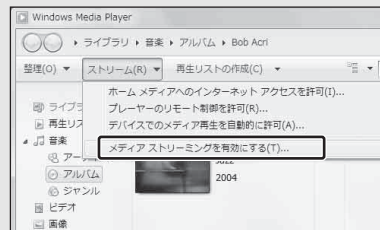


- 共有設定については、Windows Media Playerのヘルプをご覧ください。

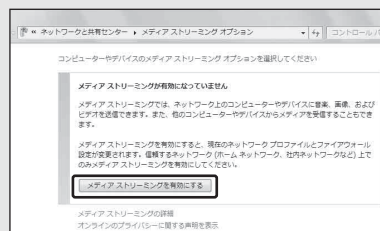
Windows Media Player以外のDLNAサーバーソフトがインストールされているパソコン（サーバー）の場合

各機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照してメディアの共有設定を行ってください。

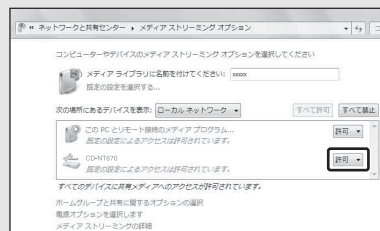
2



3



4



パソコンの曲を再生する

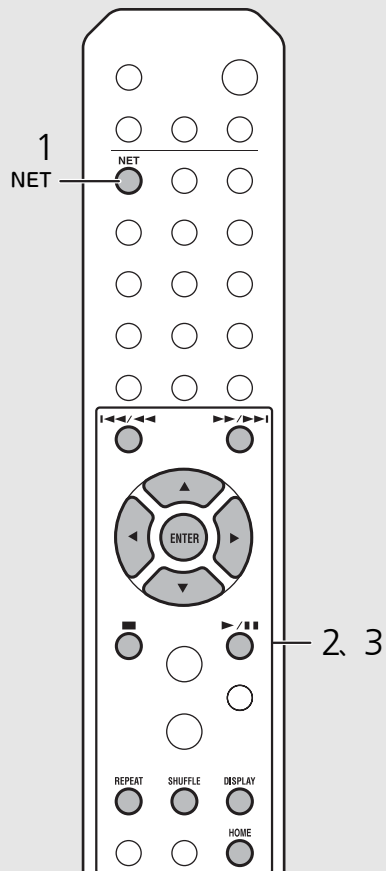
1 ^{NET}○を繰り返し押し続けて【Server】を選ぶ。

2 ブラウズ操作して曲を選ぶ。

▲/▼	項目を移動
ENTER/▶	選択項目を決定し次の階層に進む、または、再生開始
HOME	一番上の階層に移動
◀	階層をひとつ戻る
DISPLAY	ブラウズを終了し、再生しているコンテンツの情報を表示

3 再生する。

▶/■	再生/一時停止
▶▶/▶▶/	フォルダ内で曲を前後に
◀◀/◀◀	スキップ
■	停止
SHUFFLE	シャッフル再生 (P.35)
REPEAT	リピート再生 (P.35)



- 音楽を再生できない場合は、ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、本機を同じネットワークに接続してください。
- パソコン内の音楽ファイルは、プリセット登録ができます (P.37)。

Bluetooth接続で音楽を再生する

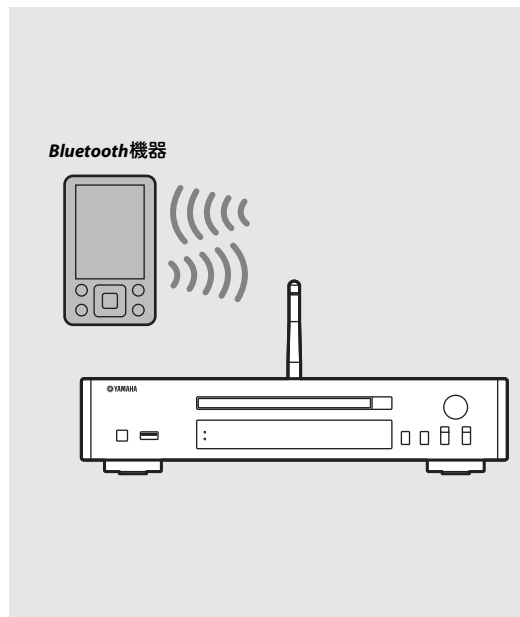
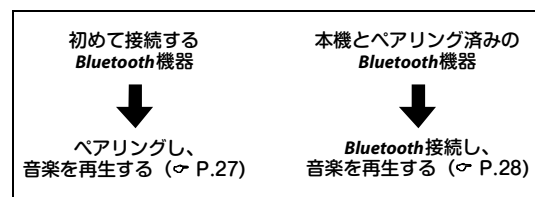
ブルートゥース

Bluetoothに対応した機器の音楽を簡単にワイヤレスで楽しめます。

■ 本機とBluetooth機器のペアリング


本機とはじめてBluetooth接続するときは、Bluetooth機器（接続機器）を本機に登録します。これを「ペアリング」といいます。

一度ペアリングが完了すると、Bluetooth接続を切断してもそれ以降は簡単に再接続できます。



- 接続機器のペアリング情報が削除された場合には、再度本機とペアリングを行う必要があります。

▶ ペアリングして音楽を再生する

- 1 BLUETOOTH  を押してソースを *Bluetooth* にする。
- 2 お使いの機器の *Bluetooth* 機能をオンにする。
- 3 お使いの機器の *Bluetooth* 設定で本機（本機のネットワーク名称）を選ぶ。
 - ペアリング完了後、*Bluetooth* 接続すると *Bluetooth* インジケータが点灯します。
 - ペアリング完了後、お使いの機器が本機と自動的に接続しない場合は、機器の *Bluetooth* 設定でもう一度本機（本機のネットワーク名称）を選んでください。
 - 詳細は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
- 4 お使いの機器で音楽を再生する。



- 本機が他の接続機器と接続している場合は、**BLUETOOTH** を長押しして *Bluetooth* 接続を切断してからペアリングを行ってください。
- ネットワーク名称は、オプションメニューで確認できます。
- ペアリング中にパスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力してください。

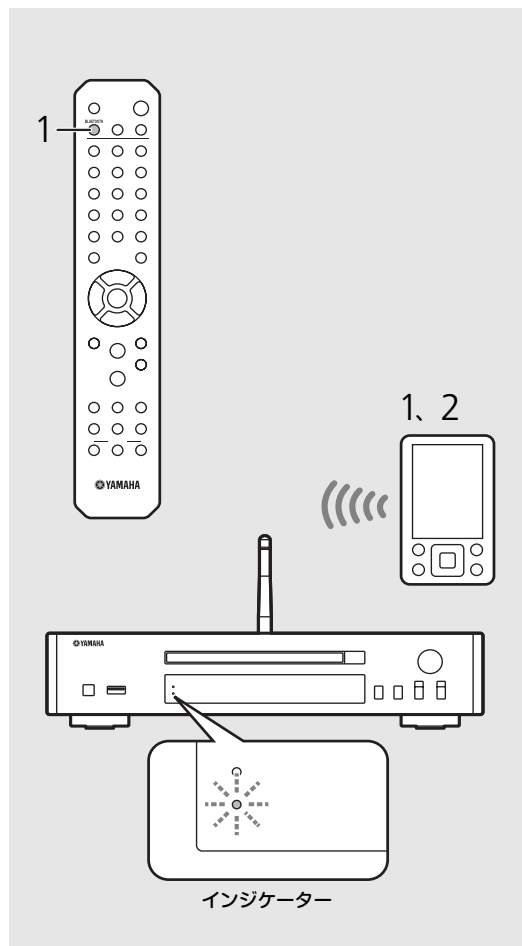
ペアリング済みの機器をBluetooth接続して音楽を再生する

他の機器とBluetooth接続している場合は、切断してからBluetooth接続をしてください（右の「Bluetooth接続を切断する」を参照）。

1 接続操作をする。

- 本機から接続する場合：BLUETOOTHを押します。
- 接続機器から接続する場合：接続機器のBluetooth設定をオンにし、使用可能なデバイスのリストから本機（本機のネットワーク名称）を選びます。
- 接続するとBluetoothインジケータが点灯します。

2 接続機器で音楽を再生する。



- 再生前に、本機と接続しているアンプの音量を十分に下げてください。大音量で再生が始まる場合があります。



- 本機から接続する場合は、最後に接続した機器を探して接続します（接続機器側はBluetooth設定をオンにしておく必要があります）。

Bluetooth接続を切断する

- Bluetooth接続は、以下のいずれかの方法で切断することができます。
 - 接続機器からBluetoothを切断する。
 - 他の入力ソースに切り替える。
 - BLUETOOTHを長押しする。
 - 本機をスタンバイにする。

外部機器の音楽を再生する

DVDプレーヤーなどの音楽を再生できます。接続する外部機器によって、接続端子（DIGITAL INまたはAUX IN）が異なります（☞ P.6）。接続については、接続する外部機器の取扱説明書もご覧ください。

1 電源コードをコンセントから外し、外部機器を本機に接続する。

- 接続には、市販のケーブルをお使いください。

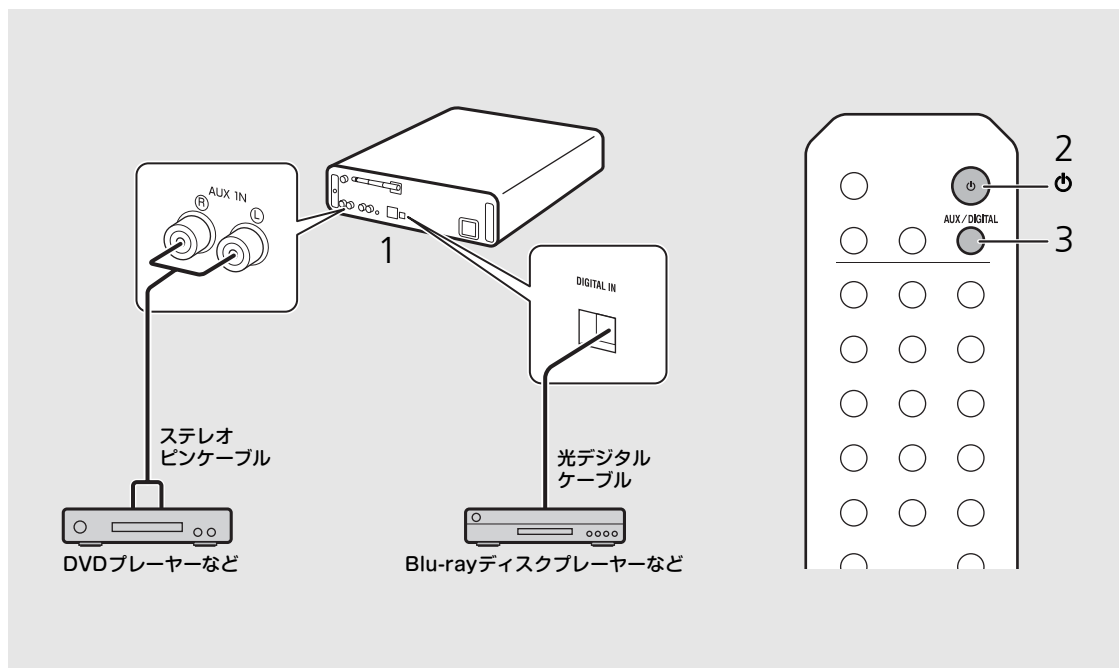
2 電源コードをコンセントに差したあとで、を押して本機の電源を入れる。

3 音楽ソースを切り替える。

- AUX/DIGITALを押すたびに、AUX IN（アナログ入力）とDIGITAL IN（デジタル入力）が交互に切り替わります。

4 接続した外部機器を再生する。

- 再生については外部機器に付属されている取扱説明書をご覧ください。



- 接続前に、本機と接続しているアンプの音量を十分に下げてください。大音量で再生が始まる場合があります。

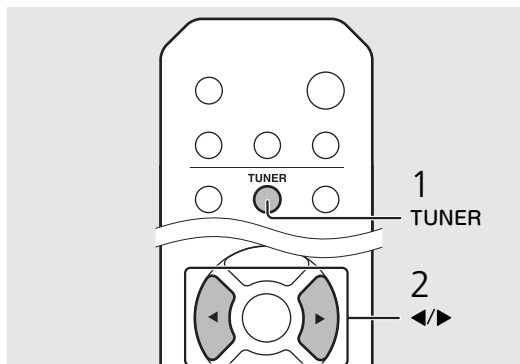
FMラジオを再生する

FMラジオを再生するにはアンテナを接続します。

FMアンテナの接続方法については「FMアンテナを接続する」(P.10)をご覧ください。

放送局を選ぶ

- 1 **TUNER**を押す。
- 2 **◀/▶**を長押しする。
 - 自動選局が始まり、放送局を受信すると自動的に止まります。



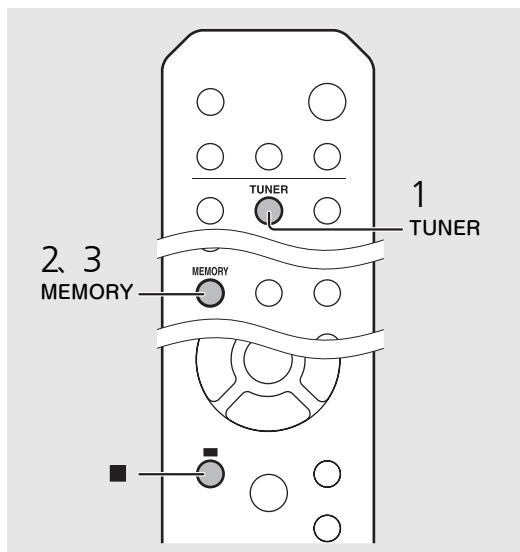
- ラジオの電波を受信しにくいときは、**◀/▶** ボタンを繰り返し押し、手動で選局してください。

放送局を登録する

自動プリセット

放送局を自動で選局し、受信状態の良い放送局のみ自動で登録します。

- 1 **TUNER**を押す。
- 2 **MEMORY**を押す。
- 3 **MEMORY**を押す。
 - 自動プリセットが始まり、終了するとディスプレイに「Completed!」と表示されます。



- 自動プリセットを実行すると、登録されていたすべての放送局が消去され、新たに放送局が登録されます。



- 放送局は30局まで登録できます。
- 自動プリセットを途中で停止するには **■** を押します。
- オプションメニューからも、自動プリセットを設定できます (P.41)。

手動プリセット

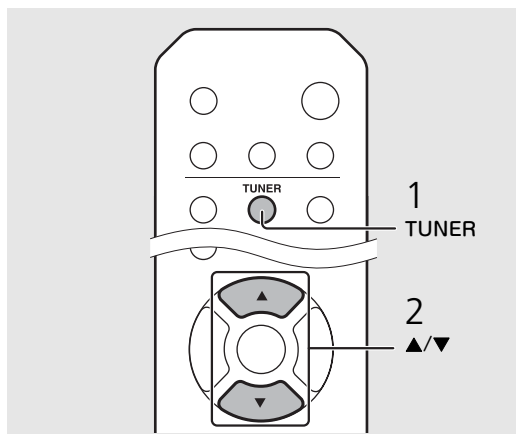
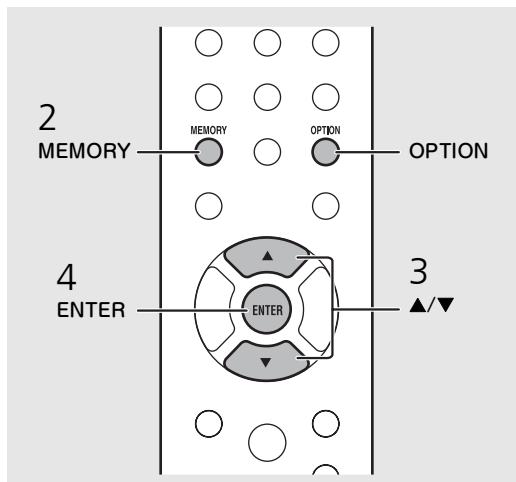
- 1 登録したい放送局を選ぶ (☞ P.30)。
- 2 **MEMORY** を押す。
• ディスプレイにプリセット番号が点滅します。

Memory
FM01 76.0MHz

- 3 ▲/▼を押して、登録したいプリセット番号を選ぶ。
- 4 **ENTER** を押し、登録を完了する。

登録した放送局を選ぶ (プリセット選局)

- 1 **TUNER** を押す。
- 2 ▲/▼を押して、放送局を選ぶ。



- 手動プリセットを途中でキャンセルするときには **■** を押します。

登録した放送局を削除する

オプション設定を使ってプリセット局を削除します。

- 1 ソースがFMのときに**OPTION**を押す。
- オプションメニューが表示されます。
- プリセット局の削除を中止するときは **OPTION** を押します。
- 2 ▲/▼を押して [Preset Delete] を選び、**ENTER**を押す。
- 3 ▲/▼ を押して削除するプリセット番号を選ぶ。
- 4 **ENTER**を押す。
- プリセットが削除され、ディスプレイに [Deleted!] と表示されます。
- 5 **OPTION**を押し、オプション設定を終了します。

インターネットラジオを再生する

インターネット上に配信されている世界中のラジオ放送を本機で再生することができます。
本機がネットワークに正しく接続されているか確認してください (P.12)。

1 ^{NET}  を繰り返し押し続けて [NetRadio] を選ぶ。

2 ブラウズ操作して放送局を選ぶ。




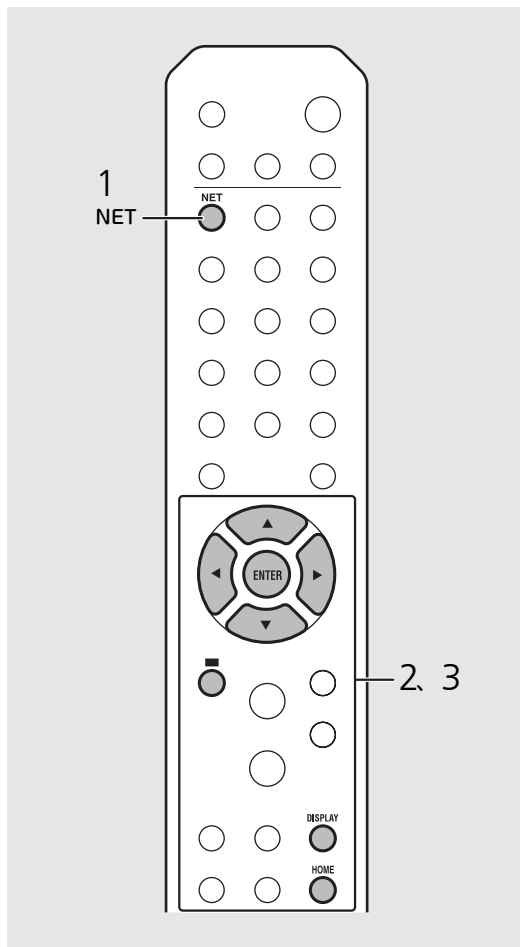
NetRadio
Station List

- リモコンは以下の通りに機能します。

▲/▼	項目を移動
ENTER/▶	選択項目を決定し次の階層に進む、または、再生開始
HOME	一番上の階層に移動
◀	階層をひとつ戻る
DISPLAY	ブラウズを終了し、再生しているコンテンツの情報を表示

3 再生が始まります。

- 再生を停止するには  を押します。



- インターネットラジオを再生しているときに **DISPLAY** ボタンを押すと、再生中の情報が表示されます。押すたびに、表示は以下のよう切り替わります。

ラジオ局名 (初期表示)

再生時間

曲名

- パソコンのウェブブラウザで下記のウェブサイトアクセスすると、Bookmarksフォルダーにお気に入りのインターネットラジオ局を登録できます。
<http://yradio.vtuner.com>
 - インターネットラジオ局を登録する前に、本機でいずれかのインターネットラジオ局を再生してください。
 - 登録に必要なアカウントの作成には本機の vTuner ID と電子メールアドレスが必要です。本機の vTuner ID はオプション設定の [Network Info] (P.42) で確認できます。
- インターネットラジオの放送局は、プリセット登録ができます (P.37)。

radiko.jpを再生する

radiko.jpは、地上波ラジオ放送をCMも含めて同時にインターネットで配信する「IP（Internet Protocol）サイマルラジオ」サービスです。モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」を使って選局します。

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で「radiko.jp」を選ぶ。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって再生する。

- 上記手順で放送局を選局すると、次回からは**NET**ボタンを繰り返し押して「radiko」を選ぶだけで、前回再生した放送局が再生されます。




- 放送エリアに準じた地域に配信するサービスのため、エリア（都道府県）ごとに対応している放送局が異なります。対応しているエリアや放送局については、radiko.jpのウェブページをご覧ください。
- radiko.jpプレミアム（エリアフリー聴取）に登録すると、全国のラジオ局（一部を除く）を受信できます。radiko.jpプレミアムを利用するには、radiko.jpのウェブサイトでのプレミアム会員登録（有料）を行ってください。登録後、モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」から登録したメールアドレスとパスワードを入力して、ログイン設定を行ってください。エリアフリー聴取可能局については、radiko.jpのウェブページをご覧ください。
- radiko.jpの放送局は、プリセット登録ができます（☞ P.37）。

AirPlayで音楽を再生する

AirPlay機能を使って、iTunesやiPodの音楽ファイルをネットワーク経由で再生します。
再生の前に、本機とパソコンやiPodが同じルーターに接続されているか（☞ P.12）確認してください。

iPodで曲を再生する

1 本機の電源を入れ、iPodの音楽再生画面を表示する。

- iPodが本機を認識すると、iPodの画面に  が表示されます。

2 をタップし、リスト内の本機（本機のネットワーク名称）を選ぶ。

- 音楽ソースが自動で [AirPlay] に切り替わり、再生が始まります（エコスタンバイ時を除く）。




- iOS7/iOS8を搭載したiPod の場合は、コントロールセンター内に表示されます。コントロールセンターを表示するには、iPod の画面を下から上にスワイプします。




- 再生中は、本機とリモコンでも再生 / 一時停止、停止、曲のスキップ操作ができます。

AirPlayを解除する

- iPod/iTunesの画面で  をタップ/クリックし、スピーカーリストで本機以外の再生機器を選びます。または、音楽ソースをAirPlay以外にしてください。

iTunesで曲を再生する

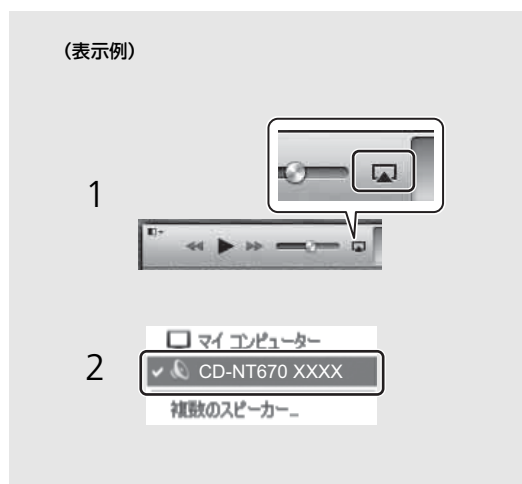
1 本機の電源を入れ、iTunes を起動する。

- iTunesが本機を認識すると、iTunesの画面に  が表示されます。

2 をクリックして、本機（本機のネットワーク名称）を選ぶ。

- 音楽ソースが自動で [AirPlay] に切り替わります（エコスタンバイ時を除く）。

3 iTunesで曲を再生する。



音楽をもっと楽しむ


再生中の曲の曲順の変更、音楽情報の確認などを行うことができます。

操作は、パソコン(サーバー)、USB機器、AirPlay、CDの再生で共通です。プリセット登録の操作については、ネットワークコンテンツにのみ有効です。

シャッフル(ランダム)再生する

再生中に  を押す。

- 押すたびに、ディスプレイのシャッフルインジケータは以下のように切り替わります。



	シャッフル再生します。*
非表示	シャッフル再生しません。

* シャッフルする範囲は再生しているメディアにより異なります。

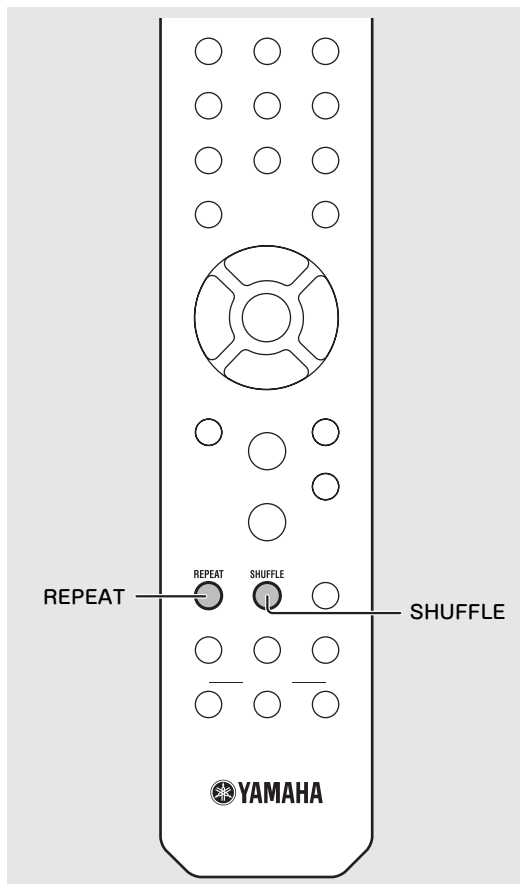
リピート再生する

再生中に  を押す。

- 押すたびに、ディスプレイのリピートインジケータは以下のように切り替わります。

	再生中の曲をリピート再生します。
	リピート再生します。*
非表示	リピート再生しません。

* リピートする範囲は再生しているメディアにより異なります。



曲情報を見る

再生中の曲名や再生経過時間などをディスプレイに表示できます。

再生中に  を押す。

ALBUM
▶ Meteora

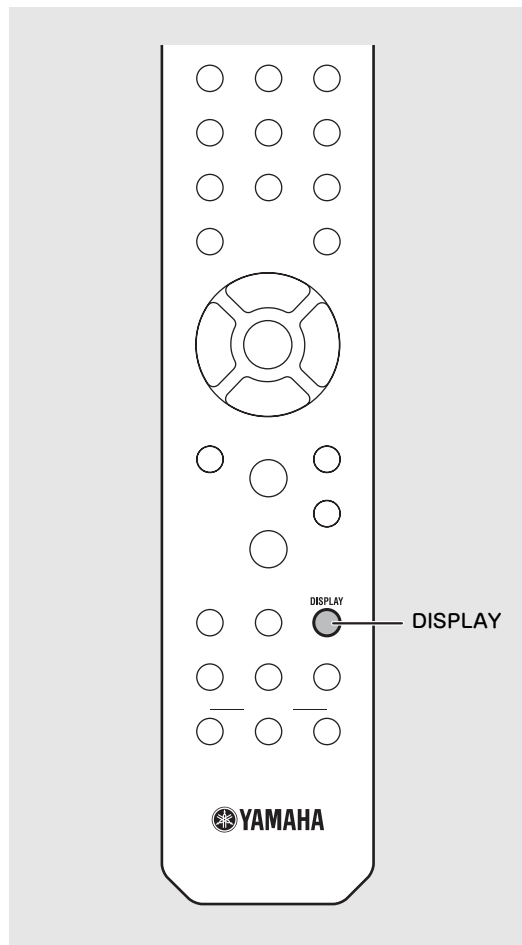
• 押すたびに、表示は以下の順に切り替わります。

USB/AirPlay/ サーバー	CD
曲名 *1	再生時間
アルバム名	曲の残り時間 *2
アーティスト名	CD全体の残り時間 *2
再生時間	曲名 *1、*3
	アーティスト名 *3
	アルバム名 *3

*1 曲名が取得できない場合は、ファイル名を表示することがあります。

*2 オーディオCD再生時のみ。

*3 オーディオCDの場合、選択された曲が各情報を含んでいる時のみ。

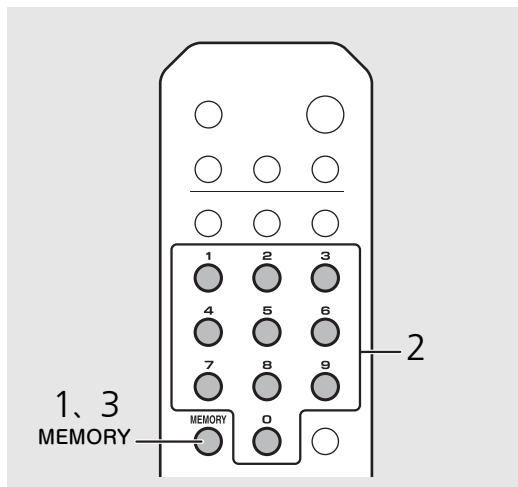


• ディスプレイに表示される文字は英数字のみです。

■ ネットワークコンテンツを登録する

再生中のネットワークコンテンツを登録しておくと、後で簡単に再生できます。

- 1 ネットワークコンテンツを再生中に **MEMORY** を押す。
 • プリセット登録を開始します。
- 2 数字ボタンでプリセット番号を入力する。
- 3 **MEMORY** を押し、登録を完了する。



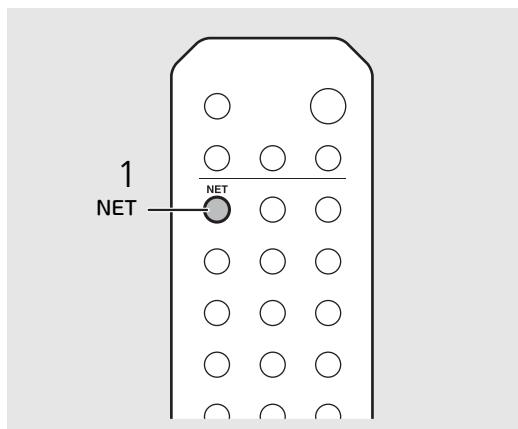
- 入力したプリセット番号に、すでにコンテンツが登録されている場合は、上書きされます。



- プリセット登録中に **■** を押した場合、プリセット登録はキャンセルされます。
- プリセット登録が可能なソースは次の通りです。
 - インターネットラジオ
 - パソコン（サーバー）
 - radiko.jp
- プリセット番号は1～37まで設定できます。

■ 登録したネットワークコンテンツを選ぶ

- 1 **NET** を押す。
 - 2 数字ボタンでプリセット番号を入力する。
- ネットワーク接続されているとき、入力したプリセット番号に登録されたコンテンツが再生されます。
 - 選択したコンテンツが、現在使用しているソースではない場合、選択したコンテンツのソースに切り替わります。



FAVORITES にコンテンツを登録する

お好みのコンテンツをFAVORITESボタン (A～C) に登録しておく、後で簡単に再生できます。

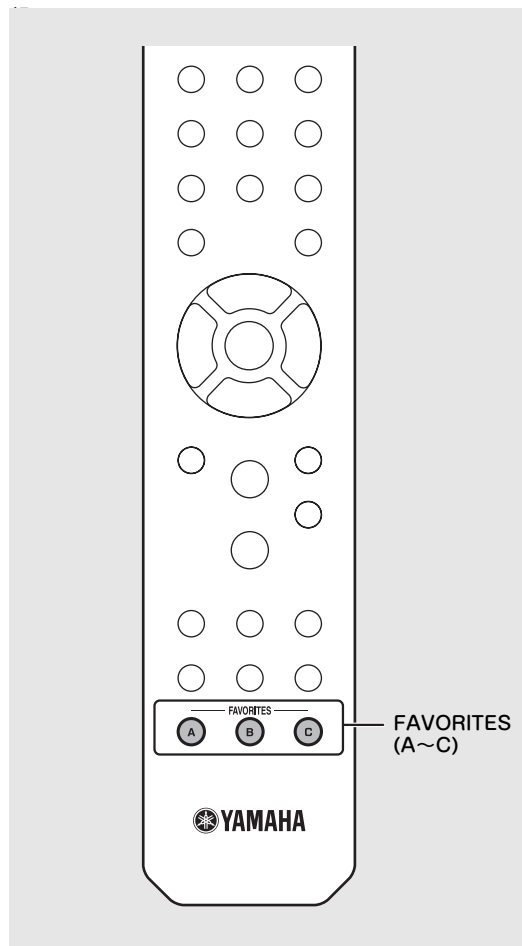
コンテンツを再生中に、いずれかの FAVORITES ボタン (A～C) を長押しする。

- 現在再生中のコンテンツがFAVORITESボタンに登録されます。

FAVORITES に登録したコンテンツを選ぶ

コンテンツに登録したFAVORITES ボタン (A～C) を押す。

- 別のコンテンツを使用中でも、押したFAVORITES ボタンに登録されたコンテンツに切り替わり、再生されます。



- コンテンツに登録した FAVORITES ボタンを押したときの動作は、登録したコンテンツの入力ソースによって異なります (P.39)。

FAVORITESに登録できる内容一覧

入力ソース	登録できるコンテンツ	登録したFAVORITESボタンを押したときの動作
Server	曲	入力ソースが切り替わり、登録した曲を先頭から再生します。
NetRadio	放送局	入力ソースが切り替わり、登録した放送局を再生します。
radiko.jp	放送局	入力ソースが切り替わり、登録した放送局を再生します。
AirPlay*	入力ソースのみ	入力ソースが切り替わります。
Bluetooth*	入力ソースのみ	入力ソースが切り替わります。
USB	曲	入力ソースが切り替わり、登録した曲を再生します。
CD	曲	入力ソースが切り替わり、登録した曲を先頭から再生します。
FM	放送局	入力ソースが切り替わり、登録した放送局を再生します。
AUX*	入力ソースのみ	入力ソースが切り替わります。
Digital*	入力ソースのみ	入力ソースが切り替わります。

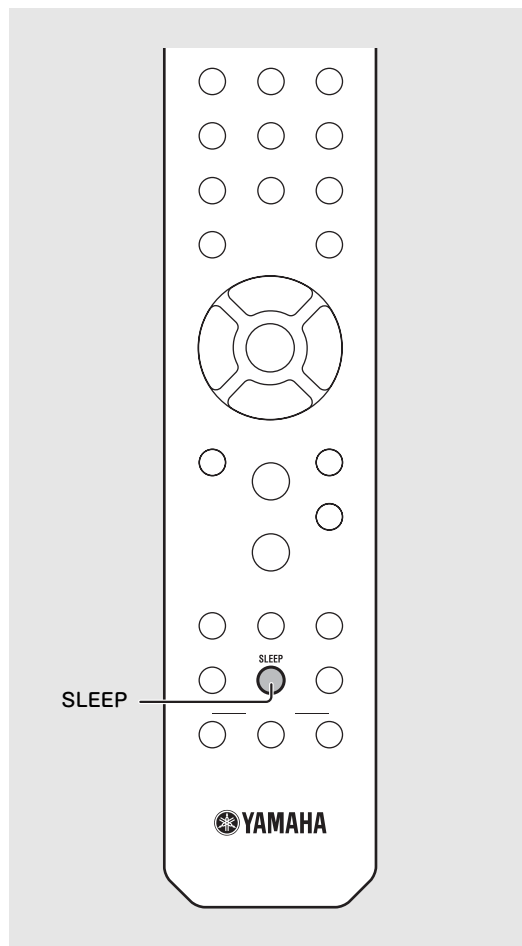
* 再生するためには、入力ソース側の機器の設定が必要です。

スリープタイマーを使う

本機が自動的にスタンバイ状態になる時間を設定できます。

SLEEP
○を繰り返し押し、時間を選ぶ。

- 時間は120/90/60/30分、OFFから選べます。
- スリープタイマーがセットされると、**SLEEP**インジケータが点灯します。
- スリープタイマーを解除するには、もう一度**SLEEP**を押します。



オプション設定

オプション設定では、本機のさまざまな項目の設定ができます。

1 OPTIONを押す。

- オプションメニューが表示されます
(☞ P.42)。

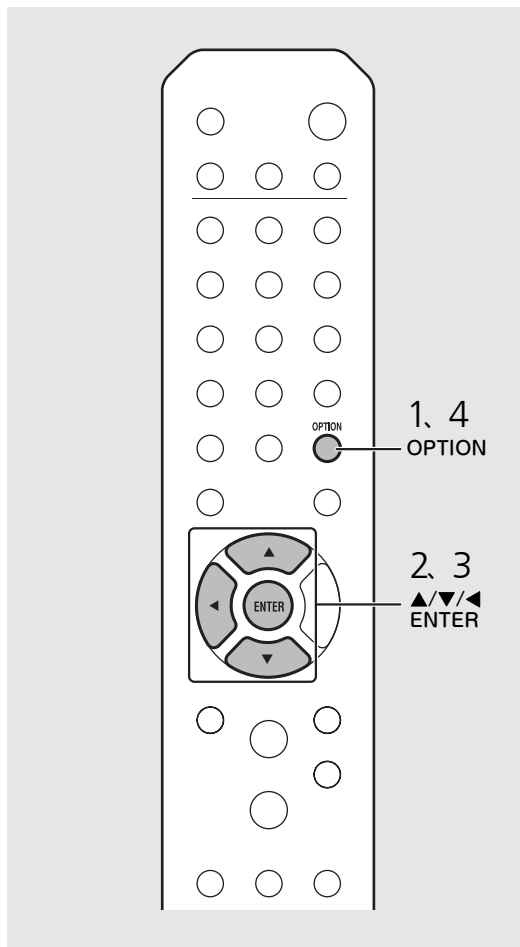
2 ▲/▼で設定したいオプションメニューを選び、ENTERを押す。

OPTION
#Network Config

3 ▲/▼で設定を変更し、ENTERを押す。

- サブメニューがある場合は、手順3を繰り返します。
- ◀を押すと、設定をキャンセルしてひとつ上の階層に戻ります。
- 続けて他の項目も設定するときは、手順2～3を繰り返します。

4 OPTIONを押して、オプション設定を終了する。



オプションメニュー一覧

メニュー	サブメニュー	初期値	説明
Preset Delete* (☞ P.31)			プリセット局を削除
Auto Preset*			Auto Presetの設定
Network Info	Status		ネットワーク端子の接続状態を確認
	LAN MAC Address		MACアドレスの確認
	WiFi MAC Address		MACアドレスの確認
	Bluetooth Addr		<i>Bluetooth</i> アドレスの確認
	MusicCast Info		MusicCastの情報を表示
	SSID		SSIDの確認
	Direct Info		ワイヤレスダイレクトの情報を表示
	Network Name		ネットワーク表示名の確認
	vTuner ID		vTuner IDの確認
	IP Address	0.0.0.0	IPアドレスの確認
	Subnet Mask	0.0.0.0	サブネットマスクの確認
	Default Gateway	0.0.0.0	デフォルトゲートウェイの確認
	DNS Server(P)	0.0.0.0	プライマリDNSサーバーの確認
	DNS Server(S)	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバーの確認
Network Config	Select Network	Wired	ネットワーク接続方法の選択
	DHCP	On	DHCPの有効/無効の切り替え

メニュー	サブメニュー	初期値	説明
System Config	AutoPowerStdbby	On	自動的に本機をスタンバイにする設定 (☞ P.11)
	Net Standby	On	エコスタンバイの設定 (☞ P.11)
	Bluetooth	On	<i>Bluetooth</i> の設定
	Initialize Set		工場出荷時の設定に初期化
Firmware Update	Version		本体ファームウェアのバージョンを表示
	Update	Network	本体ファームウェアの更新 (☞ P.43)

* ラジオ再生中のときのみ表示

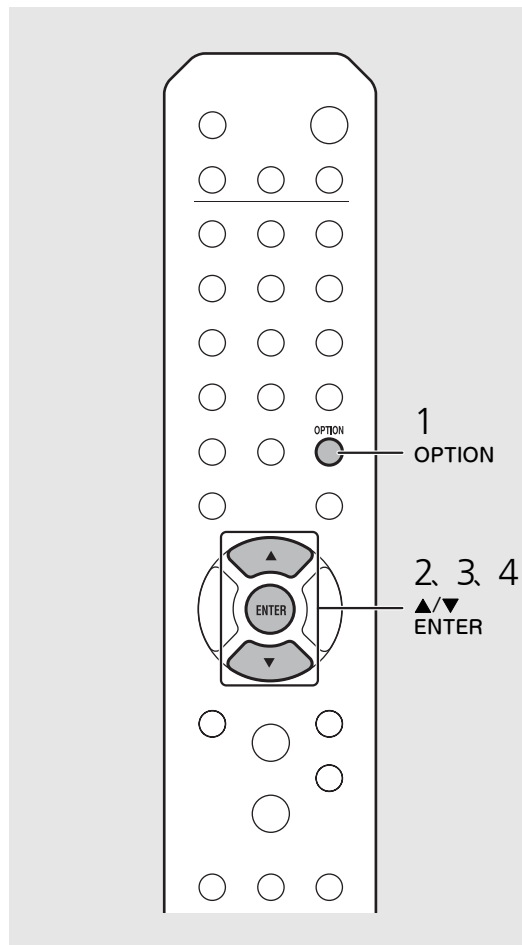
ファームウェアを更新する

本機の新しいファームウェアが提供されると、更新を促すメッセージが表示されます（本機がインターネットに接続されている場合のみ）。ここでは、オプション設定を使ってネットワーク経由で更新する方法を説明します。

- 1 **OPTION** を押す。
 - オプションメニューが表示されます。
- 2 **▲/▼**で [Firmware Update] を選び **ENTER** を押す。
- 3 **▲/▼**で [Update] を選び **ENTER** を押す
- 4 **▲/▼**で [Network] を選び **ENTER** を押す。
 - 再度 **ENTER** を押すと、更新が始まります。

S1-4:55%...

- 5 本体前面の **○**（電源）キーを押す。
 - 本機に更新が反映されます。



- ファームウェア更新中は、本機を操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。



- インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、ワイヤレスネットワークアダプターを介して本機を無線ネットワークに接続している場合など、接続状態によってはファームウェアの更新に失敗することがあります。その場合は、時間を置いてもう一度更新をお試しいただくか、USB メモリーを使ってファームウェアを更新してください。ファームウェアは弊社ウェブサイトからダウンロードできます。

USBメモリーを使用して更新するには

更新用データを保存したUSBメモリーをUSB端子に接続して更新します。

- 左の手順4で「USB」を選んで更新する。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

最初に、各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されているかご確認ください。また、電源コードがコンセントに差し込まれているかご確認ください。

全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れる。 正常に動作しない。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本体前面のⓂ（電源）キーを10 秒以上押して本機を再起動してください（問題が解決しない場合は、コンセントから電源ケーブルのプラグを抜き、約30秒後に再度差し込んでください）。
音が出ない。	本機とアンプがしっかり接続されていない。	接続を確認してください。接続に問題がなければ、別のケーブルに交換してください（☞ P.9）。
	アンプ側で正しい音声入力選ばれていない。	アンプ側の音声入力を本機からの音声に切り替えてください。
雑音が入る。	デジタル機器や高周波機器が本機の近くに置かれている。	本機と該当機器の距離を離してください。
	本機と再生機器を接続しているケーブルが破損している。	接続を確認してください。接続に問題がなければ、別のケーブルに交換してください。
突然電源が切れる。	スリープタイマーを設定していた（☞ P.40）。	本機の電源をオンにして再生しなおしてください。
	AutoPowerStdbyを設定していた（☞ P.11）	
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機をそれらの機器から離して設置してください。
リモコンで本機を操作できない。	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	操作範囲内からリモコンを操作してください（☞ P.11）。
	本機のリモコン信号受光部に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など）があたっている。	照明または、本体の向きや置き場所を変えてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池と交換してください（☞ P.8）。
	リモコンと本機の間には障害物がある。	障害物を取り除いてください。

■ ネットワーク

症状	原因	対策
ネットワーク機能を使用できない。	ネットワーク情報（IPアドレス）が正しく取得されていない。	ルーターのDHCP サーバー機能を有効にしてください。また、本機のオプション設定の [Network Config] で、[DHCP] を [On] に設定してください。DHCPサーバーを使用せずに、ネットワーク情報を手動で設定する場合は、本機のIP アドレスが他のネットワーク機器と重複しないようにしてください（☞ P.42）。 ルーターに関する詳しい設定方法につきましては、ルーターの製造メーカーにお問い合わせください。
再生が停止してしまう（連続して再生できない）。	本機が再生できないファイルが存在する。	再生するフォルダーには、本機が再生できないファイル（画像ファイルや隠しファイルなどを含む）を入れないでください。
パソコンが検出されない。	メディアの共有設定が正しくない。	本機がパソコンのフォルダにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください（☞ P.24）。
	セキュリティソフトなどの設定により、パソコンへのアクセスが制限されている。	パソコンにインストールされているセキュリティソフトの設定をご確認ください。
	本機とパソコンが同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
パソコンのファイルが表示（再生）されない。	本機またはメディアサーバーが非対応のファイル形式を使用している。	本機およびメディアサーバーが対応しているファイル形式を使用してください（☞ P.52）。
インターネットラジオを再生できない。	選択したラジオ局のサービスが現在停止している。	ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
	選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。	時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できていても音は出ません。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
	ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はラジオ局により異なります。
モバイル端末の専用アプリケーションで本機が検出されない。	本機とモバイル端末が同じネットワークに接続されていない	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
ネットワーク経由によるファームウェアの更新に失敗した。	ネットワークの接続状態がよくない。	しばらく経ってから再度更新をお試しください。またはUSB メモリーを使ってファームウェアを更新してください (P.43)。
AirPlay使用時、iPodから本機を認識できない。	マルチSSID対応ルーターを使用している。	ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。iPodを接続する際は、本機へのアクセスが可能なSSIDをお使いください。
無線LANルーター（アクセスポイント）経由でインターネットに接続できない。	無線LANルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。	無線LANルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。
	本機と無線LANルーター（アクセスポイント）との距離が離れすぎている。	本機と無線LANルーター（アクセスポイント）を近づけて設置してください。
	本機と無線LANルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある。	本機または無線LANルーター（アクセスポイント）を間に障害物がない場所に設置してください。
無線ネットワークが見つからない。	電子レンジやその他の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。	無線接続で本機を使用するときは、電磁波が発生する機器を近くで使用しないようにしてください。
	無線LANルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	無線LANルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定をご確認ください。

Bluetooth

症状	原因	対策
本機と接続機器がペアリングできない。	本機の電源がオフになっている。	本機の電源をオンにしてから、ペアリング操作をしてください (☞ P.26)。
	オプション設定の [Bluetooth] が [Off] に設定されている。	[On] に設定してください。
	すでに他の Bluetooth 機器が接続されている。	接続中の機器をいったん切断してから、ペアリングしてください。
	距離が離れすぎている。	本機から 10 m 以内の位置で接続機器をペアリングしてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線 LAN 機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。
	Bluetooth アダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。	パスキーが「0000」の機器をご使用ください。
Bluetooth 接続ができない。	接続機器が A2DP に対応していない。	A2DP に対応した機器とペアリングしてください。
	本機の電源がオフになっている。	本機の電源をオンにしてください。
	オプション設定の [Bluetooth] が [Off] に設定されている。	[On] に設定してください。
	すでに他の Bluetooth 機器が接続されている。	現在接続中の機器をいったん切断してから、接続しなおしてください。
	接続機器の Bluetooth 設定がオフになっている。	接続機器の Bluetooth 設定をオンにしてください。
	ペアリング情報が消えた。	再度ペアリングを行ってください (☞ P.26)。 本機は最大 20 台の接続機器とペアリングできます。21 台目の接続機器とのペアリングが成功すると、接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が削除されます。
	本機が接続機器の Bluetooth 機器リストに登録されていない。	再度ペアリングを行ってください (☞ P.26)。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
音が出ない、または音が途切れる。	接続機器の音量が最小になっている。	接続機器の音量を上げてください。
	接続機器の出力切替が本機に設定されていない。	接続機器の出力切替を本機に設定してください。
	本機と接続機器とのBluetooth接続が切断された。	Bluetooth接続を再度行ってください (P.26)。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線LAN 機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発する機器から離して設置してください。
	本機と接続機器の距離が離れすぎている。	接続機器を本機から10 m以内に置いてください。
	接続機器のBluetooth設定がオフになっている。	接続機器のBluetooth設定をオンにしてください。
	接続機器がBluetooth信号を本機に送っていない。	接続機器のBluetoothが正しく設定されているか確認してください。

ディスク

症状	原因	対策
ディスクをセットしても再生されない。 特定の機能が動作しない。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください (P.51)。
	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください (P.51)。
本体の▶/■または、リモコンの▶/■を押しても再生が始まらない（すぐに停止する）。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください (P.51)。
	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を1～2時間ほど放置し、部屋の温度になじませてから、再度操作してください。

USB機器

症状	原因	対策
USB機器が認識されない。	USB 機器がUSB端子に正しく接続されていない。	本機の電源を切り、USB機器を接続しなおしてください (P.23)。
	FAT16/32フォーマット以外のUSB 機器を使用している。	FAT16/32フォーマットのUSB 機器を使用してください。

症状	原因	対策
USB機器のフォルダやファイルが表示されない。	暗号化機能によりUSB機器内のデータが保護されている。	暗号化機能のないUSB機器を使用してください。

ラジオ

症状	原因	対策
ステレオ放送になると雑音が多く聴きづらい。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナの接続を確認し、固定位置を調整してください (P.10)。
	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力が弱い。	屋外アンテナを使用してください。詳しくは、専門店などにご相談ください。
自動選局ができない。	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力が弱い。	屋外アンテナを使用してください。詳しくは、専門店などにご相談ください。
		手動で選局してください (P.31)。
プリセット選局ができない。	メモリーに登録された設定内容が消去された。	放送局を再登録してください (P.30、31)。
FM専用アンテナや屋外アンテナを使用しても、音が歪むなど受信感度が悪い。	マルチパス（多重反射）などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。

ディスプレイの表示メッセージ

表示	内容	対策
Access Denied	パソコン（サーバー）がアクセスを拒否している。	本機がパソコン（サーバー）のフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください（☞ P.24）。
Access Error	USB 機器にアクセスできない。	本機の電源を切り、USB 機器を接続しなおしてください。それでもエラーが表示される場合は、別のUSB機器に音楽ファイルを移動して再生してください。
	ネットワーク経路に問題が発生している。	ルーターおよびモデムの電源が入っていることを確認してください。本機とルーター（またはハブ）が正しく接続されているか確認してください（☞ P.13）。
Initializing	本機が起動中です。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。3分以上経過しても消えない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
Loading...	指定されたファイル/コンテンツを読み込み中です。	読み込みが終わるまでしばらくお待ちください。
No Content	再生可能なファイルが選択したフォルダに入っていない。	再生可能なファイルが入っているフォルダを選択してください（☞ P.52）。
No Disc	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	ディスクが本機に対応しているか確認してください（☞ P.51）。
	ディスクが汚れている、または異物が付着している。	ディスクの汚れを拭きとってください。または、付着した異物を取り除いてください。
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクはラベル面を上にしてセットしてください。
No Songs	再生可能なファイルがディスクに入っていない。	再生可能なファイルが入っているディスクをセットしてください（☞ P.51）。
Not Connected	本機がネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続を確認してください。
Overcurrent	非対応のUSB機器が接続された。	USB 機器を接続しなおし、本機の電源を入れなおしてください。USB機器で再度同じ症状が現れた場合は、接続されたUSB 機器は使用できません。
	USB機器が正しく接続されていない。	
Unable to play	USB機器またはパソコン（サーバー）の曲を再生できない。	再生可能なファイルか確認してください（☞ P.52）。
Version Error	ファームウェアの更新に失敗している。	再度ファームウェアを更新してください。

対応機器/メディアとファイル形式

対応機器/メディア

パソコン

Windows Media Player 11 か Windows Media Player 12 がインストールされたパソコン。

NAS

DLNAバージョン1.5に対応したNAS。

USB機器

- 本機は、FAT16/FAT32 フォーマットのUSB マスストレージクラスの機器（フラッシュメモリー、携帯音楽プレーヤーなど）に対応しています。
- USB マスストレージクラス以外の機器（USB チャージャー、USB ハブなど）、パソコン、カードリーダー、外付けハードディスクを接続しないでください。
- 暗号化機能があるUSB 機器は使用できません。
- USB 機器のメーカーや種類により、USB 機器が本機に認識されない場合や一部の機能が使えない場合があります。

ディスク

- 本機は下記のロゴがついた音楽 CD、CD-R/RW（ISO9660 フォーマット）を再生できます。

音楽CD



CD-R/RW*




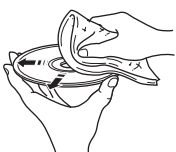
* 次のいずれかの表示があるもの。
FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY

- 本機は8cmディスクの再生ができます。
ディスクトレイの内側のくぼみに8cmディスクをセットしてください。

ディスクに関するご注意

- 本機の故障やディスクの破損の原因となりますので、上記以外のディスクは使用しないでください。
- ファイナライズされていないCD-R/RWディスクは再生できません。ファイナライズとは、各ディスクの再生対応機器で再生できるように処理することです。
- 一部のCD-R/CD-RWディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。
- ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。
- 表面に傷のあるディスク、ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。

ディスクの取り扱い

- ディスクを持つときは、ディスクの縁や中央の穴を持つようにし、表面に触れないでください。
- ディスクのラベル面に文字を書くときは、先の柔らかいペンなどを使用してください。
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、のりなどをつけたりしないでください。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- ディスク以外のものをディスクトレイにセットしないでください。
- ディスクは1枚だけセットしてください。2枚以上重ねてセットすると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布で中心から外側へ向かって拭いてください。レコードクリーナーやシンナーなどは使わないでください。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。
- ディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ディスクを使用していないときは、本機からディスクを取り出し適切なケースに入れて保管してください。

ファイル形式

本機に対応しているファイル形式は以下の通りです。

DLNA/USB

ファイル	サンプリング 周波数 (kHz)	量子化ビット 数 (bit)	ビットレート (kbps)	チャンネル 数	ギャップレ ス再生対応
WAV*	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓
MP3	32/44.1/48	-	8 ~ 320	2	-
WMA	32/44.1/48	-	8 ~ 320	2	-
MPEG-4 AAC	32/44.1/48	-	8 ~ 320	2	-
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓
ALAC	32/44.1/48/ 88.2/96	16/24	-	2	✓
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓

* リニアPCM フォーマットのみ

- FLAC ファイルを再生するには、パソコン（サーバー）にインストールされているサーバーソフトが、DLNA を使ったFLAC ファイルの共有に対応している必要があります。
- DRM（デジタル著作権管理）により保護されたファイルは再生できません。

ディスク

フォーマット	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数
MP3	8 ~ 48	16
WMA	16 ~ 48	16

主な仕様

入力

AUX IN	RCA端子×1
DIGITAL IN	光デジタル端子×1

出力

ANALOG OUT	RCA 端子×1
------------	----------

CD

レーザー	波長	790 nm
	出力	10 mW
再生メディア	CD、CD-R/RW	
オーディオフォーマット	オーディオCD、MP3、WMA	

USB

再生フォーマット	MP3、WMA、MPEG4 AAC、WAV、FLAC、ALAC、AIFF
----------	--------------------------------------

ネットワーク

インターフェース	100Base-TX/10Base-T
インターネットラジオ	vTuner対応
PCクライアント機能	DLNA Ver. 1.5対応 (DMP/DMR機能)
再生フォーマット	USBの再生フォーマットと同様
AirPlay	AirPlay対応

Wi-Fi

無線LAN規格	IEEE802.11 b/g/n
無線周波数	2.4 GHz
対応セキュリティ	WEP、WPA2-PSK (AES)、Mixed Mode

チューナー

受信周波数範囲	FM	76.0 MHz～95.0 MHz
---------	----	-------------------

Bluetooth

Bluetoothバージョン	Ver. 2.1+EDR
対応プロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
対応コーデック	SBC、AAC
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
無線出力	Bluetooth Class 2
最大通信距離	10 m (障害物が無いこと)

オーディオ

出力レベル	ANALOG OUT 2.0±0.3 V	
周波数特性	CD	2 Hz～20 kHz (-3 dB)
	ネットワーク	Fs 48 kHz: 2 Hz～24 kHz (-3 dB) Fs 96 kHz: 2 Hz～48 kHz (-3 dB) Fs 192 kHz: 2 Hz～96 kHz (-3 dB)

総合

電源電圧	AC 100～120 V、50/60 Hz	
消費電力	16 W	
待機消費電力	ネットワークスタンバイオフ	0.5 W以下
オートパワースタンバイ		信号入力無し：20分
		操作無し：8時間
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	314×70×338 mm (アンテナ直立時) 314×142×338 mm	
質量	2.9 kg	

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

商標

AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、iTunesは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

AirPlay は iOS 4.3.3 以降を搭載したiPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion を搭載したMac、iTunes 10.2.2以降を搭載したMacとPCにおいて動作します。



DLNA™およびDLNA CERTIFIED™はデジタルリビングネットワークアライアンスの登録商標です。無断使用は固く禁じられています。



Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。

Wi-Fi Protected SetupマークはWi-Fi Allianceのマークです。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi Protected Setup、WPA、WPA2 はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。



Bluetooth®およびロゴはBluetooth SIGの登録商標であり、ヤマハ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

Bluetoothプロトコルスタック (Blue SDK)

©1999-2014 OpenSynergy GmbH

All rights reserved. All unpublished rights reserved.

GPL/LGPLについて

本製品は、GPL/LGPLライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。お客様はGPL/LGPLライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードを入手、改変、再配布する権利があります。GPL/LGPLライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPLライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。

<http://download.yamaha.com/sourcecodes/musiccast/>

Windows™

Windows は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer、Windows Media Audio、Windows Media Player は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

Android™

AndroidおよびGoogle Playは、Google Inc.の商標です。



「ラジコ」、「radiko」およびradikoロゴは株式会社radikoの登録商標です。



MusicCastはヤマハ株式会社の登録商標です。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。



記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
● 異常なおいや音がある。
● 煙が出る。
● 内部に水や異物が混入した。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。
● 重いものを上に載せない。
● ステープルで止めない。
● 加工をしない。
● 熱器具には近づけない。
● 無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

付属の電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



禁止

電池を加熱・分解したり、直射日光にさらしたり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - 仰向けや横倒しには設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (本機の周囲に左右6cm、上10cm、背面6cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。



必ず実行

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm 以上離して使用する。
本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

使用上のご注意



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。

お手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

注意

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。



必ず実行

本機を完全に主電源から切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。
本体のふキーでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。

電池



必ず実行

電池は極性表示（プラス+とマイナス-）に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

電池は幼児の手の届かない所に保管する。
口に入れたりすると危険です。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本機を損傷するおそれがあります。



必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。



必ず実行

無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。



必ず実行

屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。工事には、技術と経験が必要です。



必ず実行

機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。突然大きな音が出たり、感電したりすることがあります。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意



手を挟まないよう注意

ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。閉めるときに挟まれて、けがの原因になることがあります。



必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、アンプの音量（ボリューム）を最小にする。突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

環境温度が急激に変化する場所では使用しない。本機に結露が発生することがあります。正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。



禁止

ディスクの挿入口には手を入れない。本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。



禁止

レーザー光源をのぞき込まない。レーザー光が目当たると、視覚障害の原因になります。



禁止

業務用機器とは接続しない。デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

リモコン



禁止

水やお茶などの液体をこぼさない。電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。感電の原因になります。



禁止

落としたり、強い衝撃を与えたりしない。故障の原因になります。



禁止

下記のような場所に置かない。
● 風呂場の近くなど、湿度が高いところ
● 暖房器具やストーブの近くなど、温度が高いところ。
● 極端に寒いところ
● ほこりの多いところ
火災や故障の原因になります。

お手入れ



必ず実行

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変苦になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、

窓を閉めたり、ヘッドホンを使用したり周囲に配慮しましょう。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

Bluetooth について

- Bluetoothとは、無許可で使用可能な2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

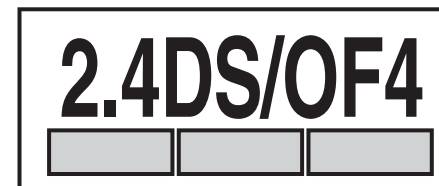
無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本機の無線方式について

(Wi-Fi)



「2.4」..... 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「DS/OF」..... 変調方式はDS-SSおよびOFDM方式
「4」..... 想定干渉距離が40 m以内



..... 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(Bluetooth)



「2.4」..... 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」..... 変調方式は周波数ホッピング
(FH-SS 方式)

「1」..... 想定干渉距離が10 m以内

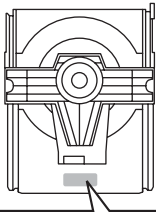


..... 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線機器を搭載しています。



- この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、有害な放射を引き起こす可能性があります。

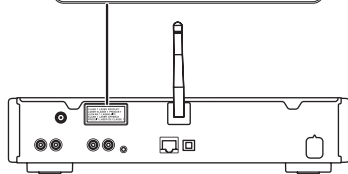


CAUTION: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN.

DO NOT STARE INTO BEAM.

DANGER: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN.

AVOID DIRECT EXPOSURE TO THE BEAM.



お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通) **0570-011-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通) **0570-012-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ニッセビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1